

6 年 組	学校名
氏名	
	小学校



目次

奈良の見学



奈良の案内図	1・2
奈良のいま・むかし	3
平城宮跡, ナガレ山古墳	4
奈良公園の案内図	5・6
東大寺	7~9
春日大社, 奈良国立博物館	10
興福寺	11
薬師寺, 唐招提寺	12
法隆寺	13・14
明日香村の案内図	15・16

京都の見学

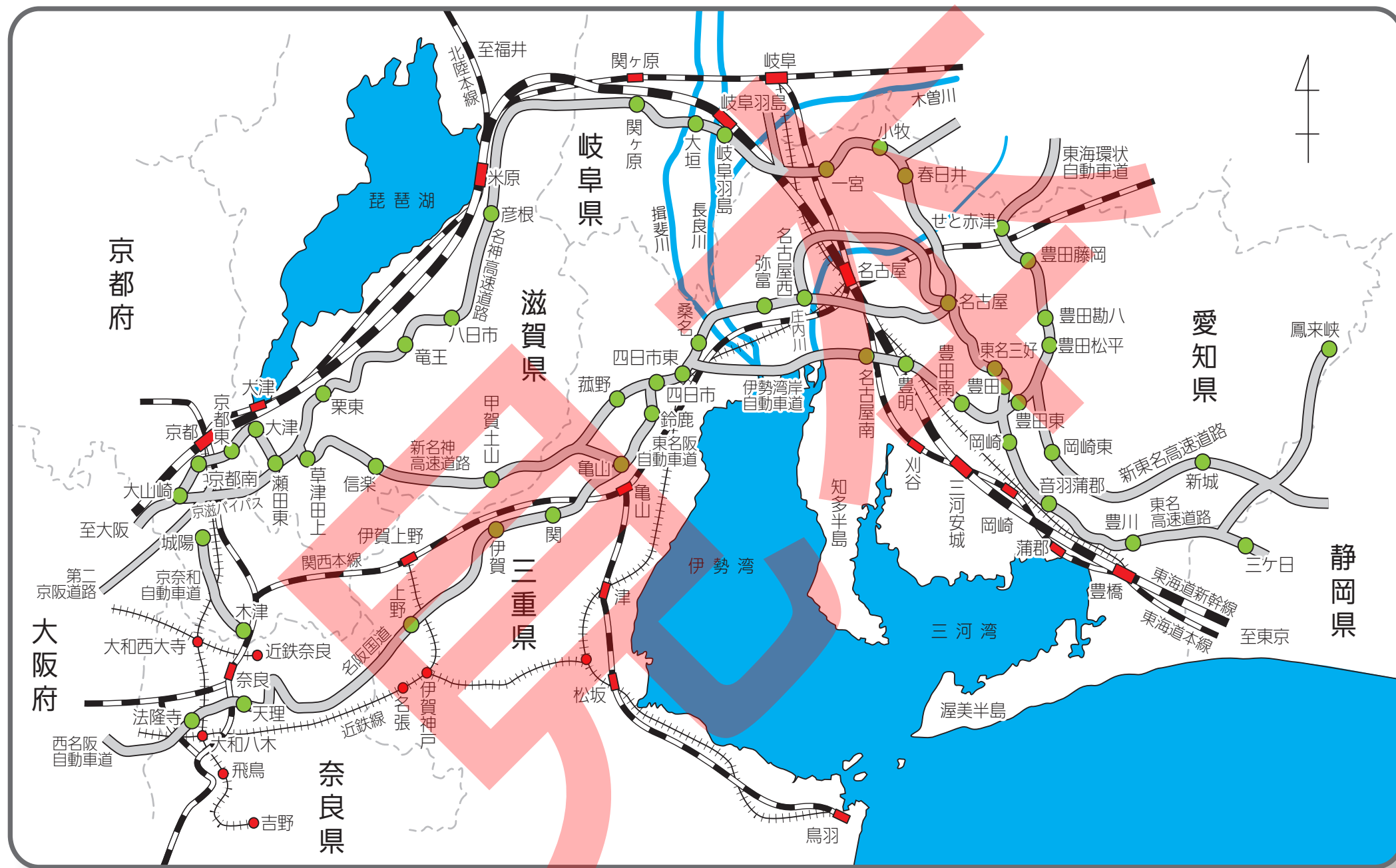
京都の案内図	17・18
京都のいま・むかし	19
東寺(教王護国寺), 西本願寺・東本願寺	20
二条城	21
三十三間堂(蓮華王院), 本能寺	22
清水寺	23
建仁寺, 知恩院, 八坂神社	24
慈照寺 銀閣	25
平安神宮, 南禅寺	26
鹿苑寺 金閣	27
北野天満宮, 龍安寺	28
仁和寺, 大徳寺	29
天龍寺・嵐山, 広隆寺	30
醍醐寺, 平等院	31
伏見稲荷大社	32

学習資料

奈良・京都歴史年表	33・34
京都観光情報早見表	35
タクシー移動時間マップ	36
体験学習一覧表	37~40
フリースペース	41~44

- わんぼいんとには、見学地にかかわるエピソードや役立つ情報がのせてあります。
- 本文中の  は歴史,  は見所, **世界遺産** はユネスコ世界文化遺産を表しています。
- 日程や開館時間等が変更されていることがあります。

旅行のみちすじ





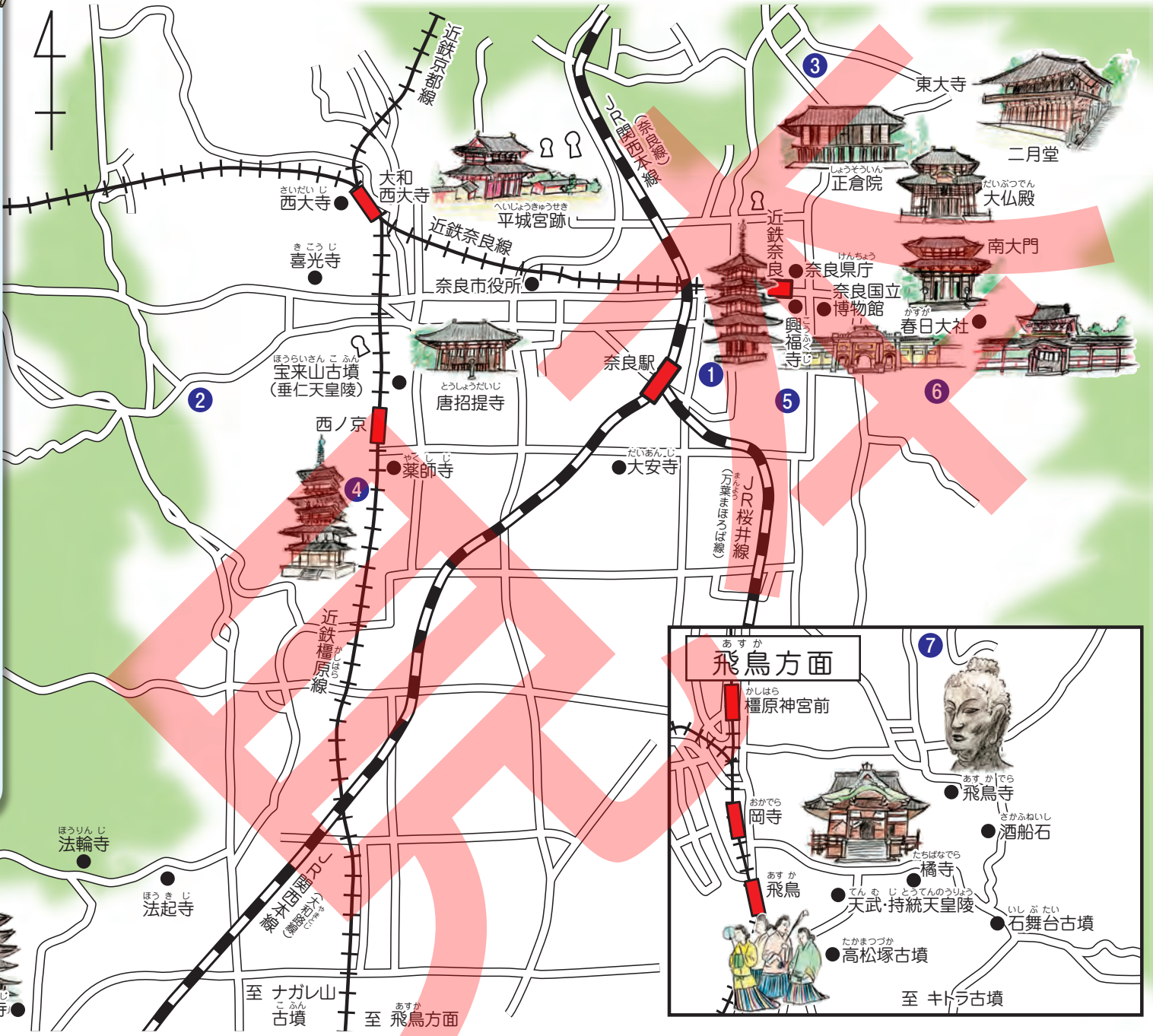
なら 奈良の案内図

次のような情報がのせてあります。

- 交通案内
拝観料
問い合わせ先
(料金は小学生個人料金で令和6年11月現在の情報です。)
- 見学地にかかわるエピソードなど

●喜光寺
近鉄尼ヶ辻駅から徒歩10分
拝観料 300円
開館時間 9:00~16:30
問い合わせ先 (喜光寺)
TEL 0742-45-4630
奈良時代の高僧、行基菩薩が養老5年(721)に創建した。東大寺大仏建立のための布教活動の拠点となった。

○斑鳩三塔とは
斑鳩町にある聖徳太子とその一族にゆかりのある三つの仏塔のことです。
法隆寺 (五重塔)
法起寺 (三重塔)
法輪寺 (三重塔)



- ホームページ情報
- 奈良県のホームページ
<http://www.pref.nara.jp>
- 奈良文化財研究所
<http://www.nabunken.go.jp>
- 奈良市観光協会



〈フリー乗車券〉
●奈良公園・西の京 世界遺産 1-Day Pass
奈良公園エリア、西の京エリアの路線バスが一日乗り放題。
一日乗車 300円

●奈良公園・西の京・法隆寺 世界遺産 1-Day Pass Wide
奈良公園エリア、西の京エリアに加えて法隆寺エリアの路線バスが一日乗り放題。
一日乗車 550円

・問い合わせ先
奈良交通お客様サービスセンター
TEL 0742-20-3100
<http://www.narakotsu.co.jp>
(8:30~19:00 年中無休)

地図中の①~⑦番号はP37の体験学習一覧表に対応している。体験できるそれぞれのおおよその位置を示している。

●キトラ古墳
近鉄壺坂山駅から徒歩12分
明日香周遊バス キトラ
入場料 無料
開室時間 9:30~17:00(3~11月)
9:30~16:30(12~2月)
・問い合わせ先
飛鳥管理センター
TEL 0744-54-2441



○古都保存法

正式には「古都における歴史的風土の保存に関する特別措置法」という。全国で10市町村が指定されているが、奈良県にはそのうち6市町村が含まれている。

○奈良の名産品

- 奈良漬
江戸時代に、ある医者が酒粕を利用して瓜を漬けたことから名産になった。
- 奈良筆
平安時代の初め、空海(弘法大師)が唐で筆づくりの技術を学び、日本に伝えたと言われている。奈良筆は、国の伝統工芸品に指定されている。
- 奈良墨
室町時代に興福寺のお坊さんが、灯明(油を燃やし仏に供えるもの)のすずを集めて作ったのが奈良墨(油煙墨)のはじまりといわれている。奈良墨は全国生産量の約95%をしめている。

○今も行われている伝統行事

- 若草山の山焼き
1月第4土曜日
- 芝能
第1部 能楽講座
奈良公園バスターミナル
レクチャーホール
第2部 芝能
奈良県庁前芝舞台
(開催日要確認)
- 鹿の角きり
春日大社境内鹿苑角きり場
10月の連休(予定)
入場料 500円
TEL 0742-22-2388
(奈良の鹿愛護会)
<http://www.naradeer.com>

なら
奈良のいま・むかし

奈良のいま

【観光都市としての奈良市】

戦争で町を焼かれることなく日本の文化を残している奈良市は、1950年「国際文化観光都市」に指定され、毎年多くの観光客が訪れます。国宝に指定されているものは133件。その中でも、興福寺や東大寺などが、1998年に世界遺産に登録されました。また、古都保存法(1966年)によって開発が規制されているため、古い町並が残されています。

【奈良市の伝統産業】

伝統産業として、筆・墨・鹿の角細工・奈良漆器・奈良人形・奈良うちわ・赤膚焼・奈良漬などが生産されています。これらは、今でもきたえぬかれた職人の手で守り続けられています。

奈良のむかし

【「大和の国」と呼ばれたころ】

奈良県は、昔「大和の国」と呼ばれ、古代日本の中心として栄えました。飛鳥の地は、奈良盆地の南東にあり、飛鳥浄御原宮など多くの宮(天皇の住まい)がつくられ、政治の中心地となりました。5世紀の後半から7世紀の初めには、大陸からさまざまな文化がもたらされ、多くの渡来人が移り住みました。

【聖徳太子と大化の改新】

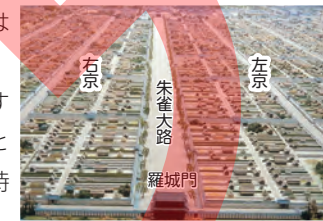
推古天皇の摂政として、聖徳太子が天皇中心の政治をすすめたのが、飛鳥の地です。645年に中大兄皇子や中臣鎌足たちが、大化の改新を行ったのも飛鳥の地でした。

【奈良時代】

710年、元明天皇が都を今の奈良市に移しました。これが、平城京です。唐(中国)の都、長安を手本にして、計画的につくられた大都市でした。東西約4.2km、南北約4.8km、道路は東西南北碁盤の目のようにつくられ、人口は10万人以上にもおよびました。794年、桓武天皇が都を京都に移すまで、日本の政治・文化の中心地として栄えました。この時代を奈良時代といいます。



(写真提供 奈良市観光課)
大仏殿と奈良の町並



(模型 奈良市役所)
平城京

なら
奈良の見学地

平城宮跡 世界遺産

奈良時代の都、平城京の一番北の中央にあったのが平城宮です。平城宮には、天皇の住まいや儀式を行う建物、国の役所などがあり、その周りを高さ約5mの大垣が囲んでいました。大垣には、朱雀門をはじめ、役人が出入りする12の門がありました。

朱雀門

天皇が住む平城宮の正門が朱雀門です。発掘調査や文献資料等をもとにして、1998年に復元されました。高さ約20m、間口約25m、奥行約10mの朱ぬりのきらびやかで大きな2層の門です。



朱雀門

第一次大極殿

古代の宮都における中心施設で、天皇の即位や、外国使節との謁見など重要な儀式が行われた場所です。2010年に復元され、正面約44m、側面20m、高さ27mで平城宮最大の宮殿です。

東院庭園

発掘調査で発見された平城宮での儀式やうたげを行った庭園を復元したものです。へいで囲まれ、建物と池を中心に置いた美しい庭園です。

ナガレ山古墳

古墳の形や埴輪の特徴から、5世紀前期につくられた古墳と考えられています。発掘調査の後、整備工事が行われ復元されました。

古墳の東側は埴輪とふき石がならべられ、1600年前につくられた当時の姿を見ることができます。西側は芝生がはられ、きれいに整備されています。



ナガレ山古墳



●平城宮跡資料館

発掘調査で掘り出された土器や瓦などの出土品を展示している。近鉄奈良線 大和西大寺駅北口 徒歩約15分

見学料 無料

開館時間 9:00~16:30

(入場は16:00まで)

休み 月曜日(祝日の場合は翌日) 年末年始

TEL 0742-30-6753



●遺構展示館

発掘調査で発見された遺構を建物でおおって保存、展示している。奈良交通バス 平城宮跡

見学料 無料

開館時間 9:00~16:30

(入場は16:00まで)

休み 月曜日(祝日の場合は翌日) 年末年始

TEL 0742-30-6753

○遺構の保存状態

平城宮は、都として使われなくなってまもなく水田につくりかえられたため、遺構がよい状態で残された。1955年に本格化した発掘調査は、今も続けられている。

●ナガレ山古墳(馬見丘陵公園内)

奈良交通バス 馬見丘陵公園 公園 入場料 無料

資料が展示してあるのは公園館(展示室)

入場料 無料

開館時間 8:00~18:00

(入場は16:30まで)

休み 月曜日

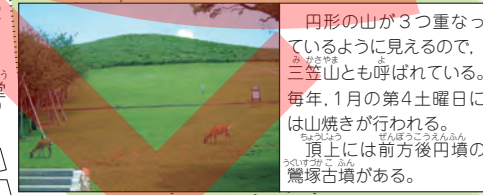
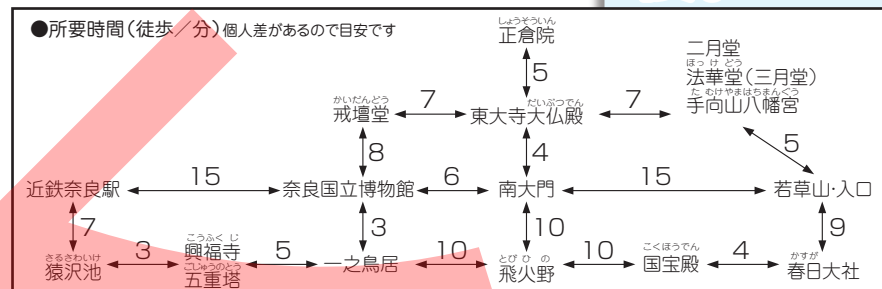
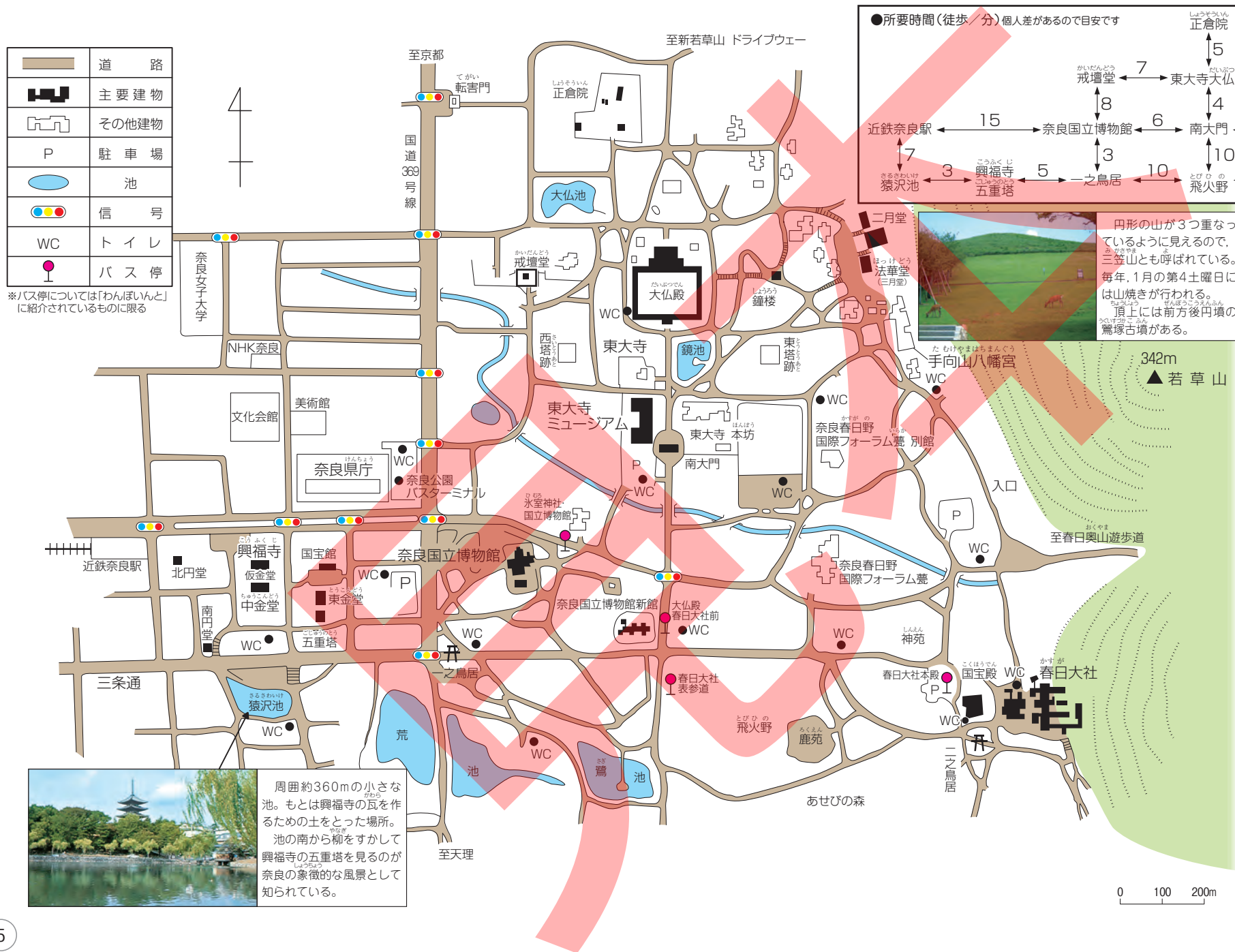
TEL 0742-27-8753

なら 奈良公園の案内図



	道路
	主要建物
	その他建物
	駐車場
	池
	信号
	トイレ
	バス停

※バス停については「わんぱいんど」に紹介されているものに限る



○奈良公園
奈良市街の東方に位置する総面積約660haというとても大きな公園である。東大寺や興福寺などの寺社や博物館がある。若草山などの自然も豊かで、鹿と遊びながら、歴史と自然を楽しむことができる。いのしし出没注意。

●若草山
入場料 80円
時 間 9:00~17:00
TEL 0742-22-0375
(奈良公園事務所)

●東大寺ミュージアム
入館料 300円
大仏殿とのセット 400円
入館時間
4月~10月 9:30~17:30
11月~3月 9:30~17:00
(入館は30分前まで)
TEL 0742-20-5511

日光菩薩立像、月光菩薩立像や誕生釈迦立像など国宝・重要文化財の宝物を公開している。

○なら・観光ボランティアガイドの会「朱雀」
世界遺産を中心にガイドをしてくれる。
・「運営協力金」としてガイド1人につき1000円(1グループ8名前後)
・1か月前までに申し込みが必要
・申し込み方法はホームページ参照
TEL 0742-27-9889
<http://www.e-suzaku.net>



周囲約360mの小さな池。もとは興福寺の瓦を作るための土をとった場所。池の南から柳をすかして興福寺の五重塔を見るのが奈良の象徴的な風景として知られている。



●東大寺

奈良交通バス（市内循環バス）
東大寺大仏殿・春日大社前
TEL 0742-22-5511

○東大寺の名前の由来

大和国の国分寺にあてられた寺が、大仏殿を中心とする大伽藍として生まれかわったことから、平城京の東に建つ大寺という意味で「東の大寺」（ひむがしのおおてら）と呼ばれるようになった。

東大寺に対し、西の大寺として西大寺がある。西大寺は東大寺より少しおくて建てられた。

○聖武天皇

740年病気の流行や反乱で政治の不安が高まると、天皇は平城京をそのままにして、家族・重臣を引き連れて旅に出た。その後、住居を山背（京都府）の森仁宮、紫香楽宮（滋賀県）と移し、大仏の工事も最初は紫香楽宮で始まった。その後、また都を難波（大阪府）に移し、その後も紫香楽と難波を行ったり来たりした。このような状況の中、745年聖武天皇は都を平城宮にもどし大仏をつくることに全力を注いだ。政治の不安定さが招いた行動とはいえ、たった5年の間に6回も都を変えた天皇は他にはいない。

○阿吽の呼吸

二人の息がぴったり合っていることを言う。仁王や神社の狛犬の多くは、この阿吽の形をとっている。

○東大寺南大門の金剛力士立像
約3000個の部分からなる寄木造である。これにより大きな仏像を木でつくることができるようになった。

言調べみよう
運慶 快慶

東大寺 世界遺産



8世紀中ごろ、天然痘という病気が流行したり、貴族が争いを起こしたりして、世の中が乱れてきました。聖武天皇は、仏教の力で国を治めようと考え、国司（地方の役人）に国分寺と国分尼寺をつくらせました。そして、奈良にそれらの中心となる東大寺を建て、大仏もつくりました。

巨大な仏像やそれを収めるお堂をつくるため、たいへんな量の銅・錫・金・水銀や木材が全国から集められ、のべ260万人以上の人が約9年かけてつくり上げました。

南大門（国宝・鎌倉時代再建）

東大寺の正門です。創建当時の門は、平安時代に大風で倒れ、現在の門は、鎌倉時代に重源上人により再建されたものです。間口約29m、奥行約11m、高さ約25mの我が国最大級の寺院の門です。



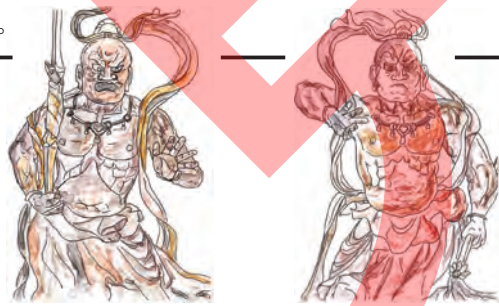
南大門

巨大な二重屋根の門で宋（中国）の建築様式を取り入れています。これを大仏様（天竺様）と言います。正面に向かって左側の口を開いた阿形、右側に口を閉じた吽形の2体の金剛力士立像（仁王像）が置かれています。

金剛力士立像（国宝・鎌倉時代）

鎌倉時代の巨匠運慶を中心に、快慶らが一門十数人を率いて69日で作ったとされています。

金剛力士立像は、像高（阿形）836.4cm、（吽形）842.4cmの寄木造の巨大な立像です。力のこもった顔や手足、風に吹き飛ばされそうな衣の様子などが写実的に表現されています。

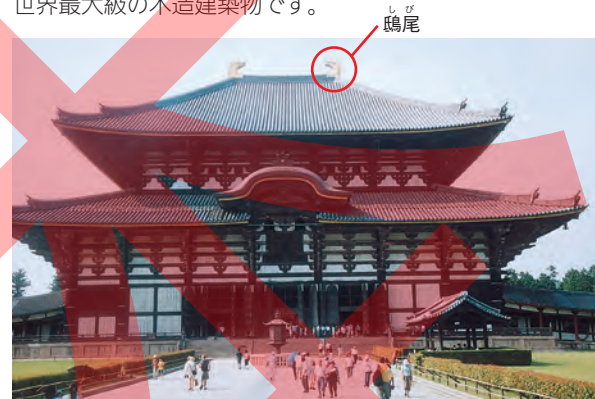


金剛力士立像（左：阿形 右：吽形）

大仏殿（国宝・江戸時代再建）

東大寺の金堂で、752年に盛大な大仏開眼供養が行われました。

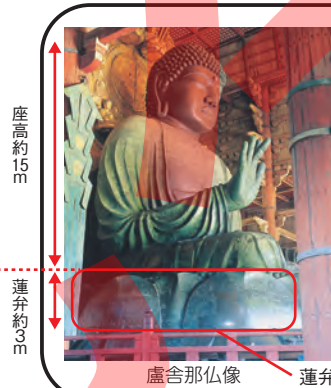
江戸時代に再建された時に、創建当時の横幅が6割ほどの大きさになりましたが、間口57m、奥行50.5m、高さ47.5mもあります。柱は木を寄せてつくられた直径1.4mにもおよぶ巨大なもので、世界最大級の本造建築物です。



大仏殿

盧舎那仏像（国宝・奈良時代）

2度の戦火（平安時代末・戦国時代）でこわされ、奈良時代のころのものはひざや台座の蓮弁を中心に残っています。胴体は戦国時代に、頭部は江戸時代につくられたものです。東大寺大仏殿の本尊で、「奈良の大仏さん」と親しまれています。



座高約15m

蓮弁約3m

盧舎那仏像 蓮弁

戒壇院戒壇堂

僧になるための儀式が行われた建物で、755年に日本で初めて建てられました。堂内中央に多宝塔をまつり、四すみに四天王立像（国宝）を安置しています。



戒壇院戒壇堂



●大仏殿

拝観料 300円
東大寺ミュージアムとのセット 400円
拝観時間
4月～10月 7:30～17:30
11月～3月 8:00～17:00

○屋根の上の鴟尾

鴟尾とは怪魚の一種で、海水をふき雨を降らす魔力をもつものといわれ、火災を防ぐ意味を表す。後の鯨はこれが変化したもの。

大仏殿の屋根にある2つの鴟尾の間隔は、大仏殿前の道路の幅と同じ。下から眺めてもそんなに広く間が空いているようには見えない。

○くぐってみよう！ 鼻の穴

大仏殿内の北東にある柱の根元には、大仏の鼻の穴と同じ大きさと言われる四角い穴があいている。この穴をくぐれば無病息災と言われている。

○螺髪

大仏の特徴的な頭髪を螺髪という。螺髪は、智慧と徳の高さを表現していて、お釈迦様が悟りを開き、人間を超えた存在であることを示す。巻貝のように巻いているが、一般的に「右巻き」となっている。現在は、500個ほどの螺髪があることが分かっている。

言調べみよう
行基

●戒壇堂

拝観料 300円
拝観時間 8:30～16:00
（但し、毎月6日は10時頃より）
TEL 0742-22-5511



●正倉院

拝観料(外構見学) 無料
拝観時間(外構見学)
10:00~15:00
休み 土・日曜日、祝日
TEL 0742-26-2811
http://www.shosoin.kunaicho.go.jp

○奈良の都の繁栄

奈良時代の文化は、遣唐使により、唐の文化の影響を受けた。このころ栄えた文化を天平文化と言う。「青丹よし、奈良の都は咲く花の匂うが如く、今さかりなり」と万葉集にもうたわれた。

○愛しょうは「奈良太郎」

鐘楼の鐘(国宝)は日本三名鐘の1つに数えられ「奈良太郎」の名前で親しまれている。なぜそう呼ばれているのか調べてみよう。

○お水取り(修二会)

3月1日より2週間にわたって、関西に春を告げるお水取り(修二会)が752年の大仏開眼供養以来一度も途絶えることなく行われている。

○二月堂からの展望

二月堂の舞台からは奈良の町並が一望できる。

●法華堂

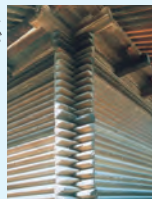
拝観料 300円
拝観時間 8:30~16:00
TEL 0742-22-5511

音調べみよう

寄棟造 入母屋造

○ここにもあるよ!

法華堂の前にも校倉造の倉があるので、見てみよう。



校倉造

正倉院(国宝・奈良時代)

聖武天皇が使った品々を収めた倉庫で、その品の中にはシルクロードを通り、中国・インド・ペルシアなどから伝わったものもあります。



正倉院 正倉

校倉造というつくりで、校木という二等辺三角形の木材を底辺が内側になるように積み重ねてつくられています。

鐘楼(国宝・鎌倉時代再建)

大仏殿東の高台にある鐘楼(鐘をつく場所)は、鎌倉時代の再建で、軒先がそりかえるようにのびています。ここにも南大門のつくり方と同じ大仏様が入り込んであります。鐘(国宝)は奈良時代の東大寺創建当初のもので、高さは3.9mもあります。

二月堂(国宝・江戸時代再建)

旧暦2月にお水取り(修二会)が行われたので、二月堂と呼ばれています。京都の清水寺と同じ舞台造です。



二月堂

法華堂(三月堂)(国宝・奈良-鎌倉時代)

東大寺最古の建物です。旧暦3月に法華会が行われるようになったので、三月堂とも呼ばれます。奈良時代に建てられた寄棟造のお堂(左側の部分)に、鎌倉時代に建てられた入母屋造のお堂(右側の部分)が合わさり一つの建物になっています。お堂の中には不空鞞索観音像(国宝)など、奈良時代のすぐれた仏像があります。



法華堂(三月堂)



●春日大社

奈良交通バス
春日大社本殿、春日大社表参道
拝観料 境内は無料
拝観時間
11月~2月 7:00~17:00
3月~10月 6:30~17:30
※お礼、お守り、御朱印は通年
9:00~閉門まで
TEL 0742-22-7788

○鹿と三作

鹿は、春日大社の神の使いとして大切に保護されてきた。その昔、三作という少年が習字をしていた時、迷いこんできた鹿が習字紙をくわえた。三作が鹿を追いはらおうと文鎮を投げると、鹿に当たって死んでしまった。三作は死んだ鹿と一緒に穴に生きうめ(石子話)にされてしまった。興福寺の近くにある一之鳥居から猿沢池へ下る道の菩提院大御堂に、あわれな三作を供養する三作塚がある。

●奈良国立博物館

近鉄奈良駅、JR奈良駅から奈良交通バス
市内循環バス外回り(2番)
氷室神社・国立博物館
観覧料金 無料
開館時間 9:30~17:00
毎週土曜日は20:00まで
(入館は閉館の30分前まで)
休日 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)
TEL 0742-22-7771
TEL 050-5542-8600
(NTTハローダイヤル)

○正倉院展

毎年、10月下旬から11月上旬に開かれている。正倉院の収蔵品の一部が公開されている。
※期間や前売券については事前に要確認。

かすがたいしゃ
春日大社

世界遺産



平城京を守るため、768年、鹿島、香取、枚岡から4神をむかえ祭神とし、称徳天皇の勅命により藤原永手が現在の地に社殿をつくったのがはじまりとされます。藤原氏の氏寺の興福寺とともに藤原氏の発展につれて社殿が整備され、伊勢神宮・石清水八幡宮とともに厚く信仰されています。

建物は、同じ形の本殿が4棟並んでおり、国宝に指定されています。本殿の手前にある中門は、平安末期の形式を伝える2層の門で、釣燈籠を下げた美しい朱ぬりの廻廊が左右に続きます。参道には石燈籠が並び、廻廊の釣燈籠とともに節分の日と中元(8月14・15日)の年2回、3000におよぶ燈籠に火がともされ、その美しい様子は「万燈籠」と呼ばれています。



春日大社 中門(写真提供 春日大社)

なら
奈良国立博物館



なら仏像館(本館)、青銅器館、東新館、西新館の4つのギャラリーからなっています。本館は、明治27年(1894年)に建てられ、煉瓦造りで、玄関まわりの装飾は明治中期のヨーロッパ風の建築物として代表的なものです。「旧帝国奈良博物館本館」として重要文化財に指定されています。

本館では、飛鳥時代から鎌倉時代にいたるまでのすぐれた仏像、青銅器館では中国古代の青銅器を展示しています。東新館は毎年、特別展や正倉院展、特別陳列などの小規模な展覧会が開催されています。西新館では、約1か月毎に展示替えをしており、絵画・書跡・工芸品・考古遺品の名品に出会うことができます。



奈良国立博物館 なら仏像館



●興福寺

近鉄奈良線 近鉄奈良駅 徒歩5分
TEL 0742-22-7755

📖 語べてみよう

藤原不比等 源頼朝

●東金堂 ●中金堂

拝観料 各100円
拝観時間 9:00~17:00
(拝観受付は15分前まで)
休み なし
TEL 0742-22-7781

○中金堂

発掘調査により、7回火災で焼失し、そのたびに再建されてきたことが分かった。平成30年に再建された。

●五重塔

五重塔は釈迦の舍利(遺骨)をまつる建物である。心柱の下の礎石に仏舍利が納められている。現在、令和の大修理中。(令和13年まで)

●国宝館

入館料 300円
国宝館と東金堂の連帯共通券(拝観料) 350円
開館時間 9:00~17:00
(入館受付は15分前まで)
休み なし
TEL 0742-22-5370

○興福寺の見どころは仏像!

国宝館の中には、6本の腕と3つの顔を持つ大和の美少年とも言われる「阿修羅立像」がある。これは天平乾漆像のけっ作である。

○食堂

僧が集団で食事をした場所のこと。

こう ふう じ 興福寺

世界遺産



📖 藤原氏の氏寺で、奈良に都が移された時(710年)に藤原鎌足の子の不比等が、飛鳥の地から移しました。

平安時代には、藤原氏の後ろだてもあり大和一国を支配したほど権力をもっていました。また、多くの名僧により、仏教・学問・芸術の中心になっていきました。

源平の戦いのころ(1180年)は、平家と対立したため、東大寺とともに焼討ちにあいましたが、源頼朝が鎌倉幕府を開くころ、お堂は再建され、その後も大和の地のほとんどを支配し続けました。

とう こん どう 東金堂(国宝・室町時代再建)

聖武天皇が、前の天皇である元正天皇の病気が治ることをいって建てました。その後、数度火災にあい、1415年に再建されました。1937年に基壇の下から仏頭(国宝)と仏手などが発見され、現在は国宝館に安置されています。



東金堂

ほく えん どう 北円堂(国宝・鎌倉時代再建)

藤原不比等の一周忌に建てられました。境内にある建物で一番古く、日本に現存する八角円堂のうち、もっとも美しいと言われています。



北円堂

ご じゅうのとう 五重塔(国宝・室町時代再建)

730年に光明皇后が建てたと伝えられています。その後5度も火災にあい、現在の塔は室町時代(1426年)に再建されたものです。

📏 高さは50.1mで京都の東寺の五重塔(約55m)に次ぐ、我が国第2位の高さをほこる五重塔です。



五重塔

国 宝 館

旧食堂の跡地に1959年に建てられました。館内には、本尊の千手観音(高さ5.2m)が中央に安置され、仏像をはじめとする多くの宝物が収蔵されています。



●薬師寺

近鉄橿原線 西ノ京駅 徒歩4分
拝観料 300円
拝観時間 8:30~17:00
(拝観受付は30分前まで)
TEL 0742-33-6001

○法話

学校団体向けに30分程度、無料で行っている。
FAX 0742-33-6004

○薬師寺は菟宮城

建てられた当時、薬師寺はその美しさから菟宮城のようだと言われた。しかし、その後、戦火や天災などでそのほとんどを失ってしまい、当時のまま現存する建物は東塔のみである。その後、金堂や西塔などが長い年月をかけて再建された。

📖 語べてみよう

天武天皇 鑑真 天平文化

●唐招提寺

近鉄橿原線 西ノ京駅 徒歩8分
拝観料 200円
拝観時間 8:30~17:00
(拝観受付は30分前まで)

○御影堂

鑑真の命日に合わせて鑑真和上坐像(国宝)の公開を6/5~6/7の3日間で行っている。
拝観料 300円
TEL 0742-33-7900

●新宝蔵

拝観料 100円
開館期間 3月1日~6月30日、
8月11日~8月15日、
9月1日~11月30日、
12月31日~1月3日
拝観時間 9:00~16:00

やく し じ 薬師寺

世界遺産



📖 698年、そのころ都であった藤原京に、天武天皇が皇后(後の持統天皇)の病気が治ることをいって建てたと言われています。元明天皇の時、奈良に都が移されると、718年に現在の場所に移されました。中門から見て、右に東塔、左に西塔、正面に金堂が建てられています。

東 塔(国宝・奈良時代)

730年に建てられたと伝えられる高さ約34mの三重塔です。各層に裳階と呼ばれる小さい屋根がつけられているので、一見すると六重塔のように見えます。塔の上ののびた九輪の先の水煙には、24体の飛天がすかし彫りされています。

金 堂

金堂には、本尊の薬師三尊像(国宝)がまつられています。薬師如来像を中央に両側に日光菩薩像・月光菩薩像が並んでいます。かつては、金色の金銅仏でしたが、火災などを経て、今は黒くかかっています。日本美術の最高けっ作と言っています。

とう いん どう 東院堂(国宝・鎌倉時代再建)

養老年間(717~724年)に吉備内親王が母元明天皇のために建てたものと伝えられています。現在の建物は、1285年に再建されたもので、本尊の聖観世音菩薩像(国宝)が、まつられています。

とうしょうだいじ 唐招提寺

世界遺産

📖 759年、唐(中国)の高僧だった鑑真が開いた寺です。戦火や天災からのがれ、今も建てられた当時の姿をよく残しています。

鑑真は、船の難破や漂流、病気など12年にもわたる苦難の末、ようやく九州の港にたどり着きました。鑑真は、日本に着いた時には目が見えなくなっていました。その後、日本の仏教のために力をつくしました。



鑑真和上坐像(国宝)

金 堂(国宝・奈良時代)

エンタシスの柱をもち、天平文化を代表する建物と言っています。盧舎那仏坐像、薬師如来立像などの国宝があります。



唐招提寺 金堂



●法隆寺

奈良交通バス 法隆寺前
JR関西本線法隆寺駅 徒歩20分
拝観料 750円
拝観時間

2/22~11/3 8:00~17:00
(拝観受付は16:00まで)

11/4~2/21 8:00~16:30
(拝観受付は15:30まで)

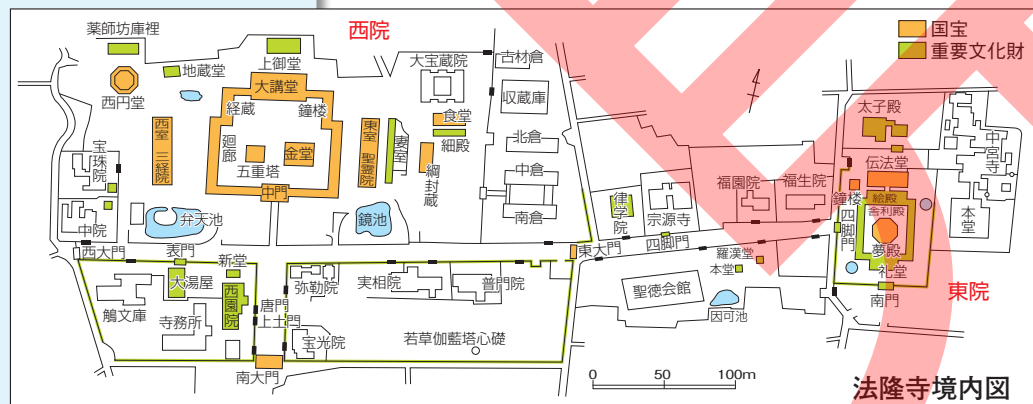
TEL 0745-75-2555

○異国文化が取り入れられた建物
法隆寺の建物には、遠い異国の文化が色こく反映されている。エンタシスは、ギリシャの神殿建築に使われているのが有名である。

○法隆寺は文化財の宝庫
法隆寺は、建物、彫刻、絵画、工芸、書物など約200件3000点以上が国宝や重要文化財に指定されている。時代的にも、飛鳥時代から安土桃山時代のものまでは幅広く、まさに文化財の宝庫と言える。

🗺️ 寺内めぐり

聖徳太子 推古天皇 エンタシス



法隆寺 世界遺産



📖 推古天皇と聖徳太子が607年に建てたと伝えられている寺です。670年に落雷により焼失し、その後、再建されました。

🏯 金堂、五重塔、中門、廻廊の一部は、その当時から今でも残っている建物で世界最古の木造建築です。これらの建物は、雲肘木、平くずしの高欄、人字形、臺段、エンタシス（胴中央部のふくらみ）をもった柱など、飛鳥様式の特徴をよく伝えています。

中門 国宝・飛鳥時代

中門は、西院の正門です。711年に完成されたと伝えられる左右に置かれた金剛力士像は、日本に残されている最古のものです。

西院の中心には、金堂と五重塔がそびえています。

五重塔 国宝・飛鳥時代

高さ約32mの5層の建物で、日本最古の塔です。美しさの秘密は各層の屋根のはばにあると言われ、上にいくほどせまくなります。5層は1層の約半分のはばになっており、こうしたつくりによって安定感のある美しい塔に仕上がっています。

五重塔の中には、釈迦の涅槃像（釈迦が亡くなる様子をとりえた像）と釈迦の死を悲しむ弟子の像があり、塔の北側（大講堂側）からのぞき見ることができます。



西院全景

金堂 国宝・飛鳥時代

金堂の内部には、天井を天女がまわし、東西南北を四天王像（国宝）が守り、その中央には釈迦三尊像（国宝）、薬師如来坐像（国宝）が置かれています。いずれも飛鳥様式を伝える代表的な仏像です。

大宝蔵院

百済観音像（国宝）をまつる百済観音堂を中心に、法隆寺の貴重な宝物類

を収める宝蔵が左右に並んでいます。2mをこす長身の百済観音像をはじめ、悪い夢をよい夢に変えると伝えられる夢違観音像（国宝）、玉虫の羽でかざった玉虫厨子（国宝）など、ここに収められている物はどれも我が国を代表する文化財です。

伝法堂 国宝・奈良時代

伝法堂は聖武天皇の夫人の住居を仏堂に改造したものです。当時のお堂としてはめずらしく床が板張りとなっています。堂内には乾漆阿彌陀三尊像や薬師如来坐像をはじめ多数の仏像が安置されています。

夢殿 国宝・奈良時代

東院の本堂で、八角円堂というつくりをしています。聖徳太子の等身大と伝えられる本尊の救世観音像（国宝）をはじめ、行信僧都像（国宝）や道詮律師像（国宝）が置かれています。



釈迦三尊像



夢違観音像



夢殿



○我が国最古の四天王像
中心になる仏像を4体で守り、武装して災いとなるものを防いでいる。四天王のうち、多聞天は宝塔を、広目天は筆とお経を持っている。持国天と増長天はどんな物を持っているかな。

○法隆寺の七不思議！

- 法隆寺には、太子信仰と結びついて、さまざまな言い伝えがある。
 - ・五重塔の九輪に鎌があり、その鎌が上向きに見えたら、その年は米が豊作、下向きに見えたら凶作である。
 - ・南大門の前に銅右があり、寺を水害から守っている。
 - ・建物には、くもの巣がはらない。
 - ・因可池の蛙には片目が無い。
- 以上、7つのうち4つをあげてみた。残り3つを自分たちで調べてみよう。

○救世観音は秘仏

救世観音は秘仏とされており明治17年まで封印されていた。下記の公開期間のみその姿を見ることができる。

公開期間
4月11日~5月18日
10月22日~11月22日

○東院と西院

法隆寺は、夢殿や伝法堂のある「東院」と、金堂や五重塔、講堂のある「西院」からなっている。東院は、奈良時代に、聖徳太子の住居があった、斑鳩宮の跡地に、元興寺の僧であった行信によってつくられた。それに対して、聖徳太子によってつくられた伽藍が「西院」と呼ばれるようになった。



○のんびりとサイクリング

飛鳥の里は、田園風景の広がるのんびりとした村。道ばたに見られる物も多く、ハイキングやサイクリングで回るのもよい。

●明日香周遊バス(赤かめ)の利用

1日フリー乗車券 380円
TEL 0744-54-2001

(明日香村役場)

TEL 0742-20-3100

(奈良交通テレホンセンター)

<http://www.asukamura.jp>

(明日香村公式ホームページ)

○たくさんの古墳

奈良市の南側は、古墳が多い地域である。小高い雑木林やそれを細長い池が囲っているような場所を見たら、もう一度はなれて全体を見わたしてみると、古墳の形が見えてくるかもしれない。円墳だと分かりにくい、前方後円墳なら、地図を見なくても古墳と判断できることもある。小高い雑木林を見たら疑ってみるとよい。

●明日香村の古墳について

国営飛鳥歴史公園

飛鳥管理センター

TEL 0744-54-2441

○明日香村の謎の石造物

明日香村には、いろいろなところに石造物がある。地図の灰色の印がそれだ。石造物は、猿や亀みたいな形をしていたり、奇妙な模様が彫られていたりします。一体どんな理由で作られ、どんなふうに使っていたのか、今でも不明なものばかり。古代の人々の生活や願いを想像して、ロマンを感じることができる。

文化財保護の協金として、拝観料が設定されている石造物もある。

あすか 明日香村の案内図



●飛鳥寺

近鉄橿原神宮前駅東口

明日香周遊バス 飛鳥大仏前

拝観料 200円

拝観時間 9:00~17:30

10月~3月は17:00まで

受付は各15分前まで

休館日 4月7日~9日

TEL 0744-54-2126

<http://www.yamatoji.nara-kankou.or.jp>

○天香久(貝)山と万葉集

「春過ぎて 夏来るらし 白妙の衣干したり 天香貝山」と持統天皇に万葉集でよまれたように、天香久(貝)山は、当時の人々に親しまれていた。

●奈良県立万葉文化館

明日香周遊バス 万葉文化館西口

入館料 無料

観覧料 (学校での利用の場合は、事前に申請があれば無料)

開館時間 10:00~17:30

(入館受付は30分前まで)

休み 月曜(祝日の場合は翌日)

TEL 0744-54-1850

<http://www.manyo.jp>

万葉集を中心とした古代文化について学ぶことができる。また、敷地内には、富本銭で知られる飛鳥池工房遺跡が復元されている。

●岡寺

明日香周遊バス 岡寺前

拝観料 無料

拝観時間

3月~11月 8:30~17:00

12月~2月 8:30~16:30

(入館受付は30分前まで)

TEL 0744-54-2007

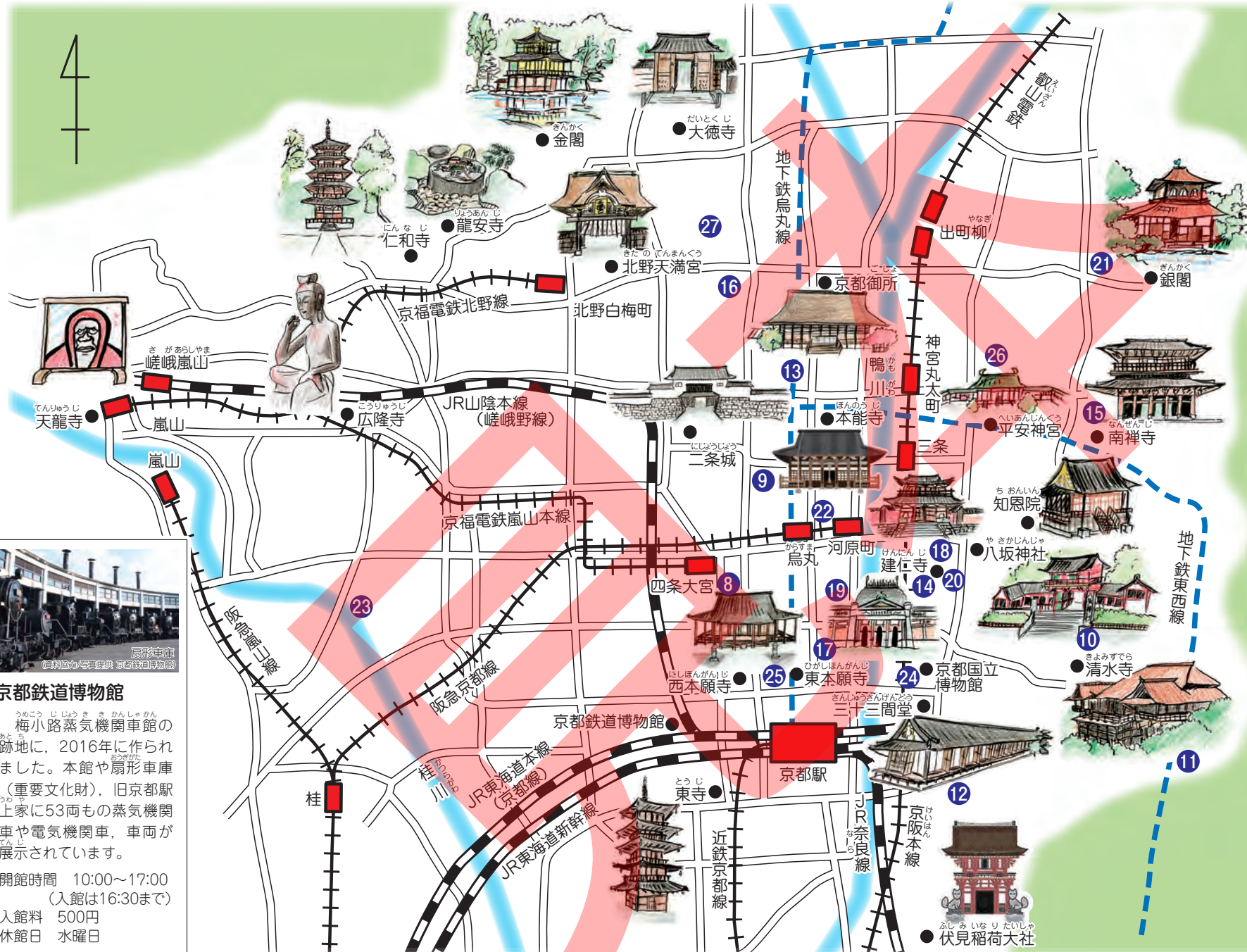
<http://www.okadera3307.com/>

日本最初のやくよけ霊場として知られ、日本最大、最古の塑像観音像を見ることができる。

♪調べたみよう

万葉集 蘇我馬子

京都の案内図



京都鉄道博物館
 梅小路蒸気機関車館の跡地に、2016年に作られました。本館や扇形車庫（重要文化財）、旧京都駅上家に53両もの蒸気機関車や電気機関車、車両が展示されています。
 開館時間 10:00~17:00
 (入館は16:30まで)
 入館料 500円
 休館日 水曜日



○京都駅
 JR西日本、JR東海、近鉄、京都市営地下鉄の駅である。東海道新幹線の全列車が停車する日本でも有数の巨大な駅。観光客はもちろん、通勤通学客も多い。駅ビルの吹き抜けにある11階の高さに相当する大階段はとても近代的で圧巻である。



京都駅ビル

- 修学旅行パスポート
拝観料等の割引特典あり
- 京都修学旅行1 dayチケット
市バスや地下鉄全線などが一日乗り放題。
一日乗車 800円
問い合わせ TEL 075-882-6207
(京都市交通局協力会)
お届け希望日の14日前までに申し込む。使用日の14日前ではない。

○鴨川
 京都府京都市を流れる淀川水系の一級河川。三条大橋や四条大橋は繁華街からも近く、多くの人の憩いの場となっている。

- ホームページ情報
●京都市観光協会

- きょうと修学旅行ナビ

地図中の番号8~27はP38~P40の体験学習一覧表に対応しています。体験できるそれぞれのおおよその位置を示しています。



○古都京都の文化財
京都府京都市、宇治市、滋賀県大津市に点在する寺院等の総称。1994年にユネスコの世界遺産（文化遺産）に登録された。

○京都三大祭
京都では1年を通して数多くの祭りや行事が行われる。特に「京都三大祭」は有名で伝統的衣装を身にまといてくぐり広げられる様子は歴史絵巻さながら。
・上賀茂神社、下鴨神社の葵祭（5月）

○京の名産品
・西陣織
京都の西陣で織られている日本の代表的な絹織物。高級品は、今でも手織りでつくられている。
・友禅染
京染めとも言い、江戸時代に宮崎友禅が考え出した着物の文様染めで、手描友禅として伝わっている。
・八ッ橋
米粉と砂糖を混ぜて作ったお菓子。その名の由来には諸説ある。
・漬物
地元野菜を使い、冬の寒さを利用してつくる。千枚漬、しば漬、すぐき、さくら漬などが知られている。

○平安京の名前の由来
奈良の平城京では貴族同士の争い、さらに、僧の政治への口出しなどによって世の中がとんでも乱れていた。僧の中には天皇になろうとたくらむ者まで現れた。桓武天皇はそうした乱れを正し、再び天皇中心の政治に戻そうと、都を土地の条件が良い今の京都へ移すことを決意した。そして、そこが「平安楽土」であるようにと願って平安京と名づけた。

京都のいま・むかし

京都のいま

【京都の地形や自然】

京都市は中心部に鴨川、西には桂川が流れており、北・東・西の三方を山に囲まれた盆地です。そのため、夏と冬の気温差が大きい盆地特有の特徴があり、夏はむし暑く、冬は「京の底冷え」と言われるほど寒さが厳しくなります。



京都タワーから見た京都の町

【世界遺産の街】

京都には歴史のある神社や寺がたくさんあります。世界遺産として清水寺や二条城、平等院など17の建物が「古都京都の文化財」として登録されています。

【伝統産業】

京都には、西陣織や友禅染、清水焼など古くから伝わる工芸品がたくさんあります。それらの伝統的な技術を生かした産業が盛んです。

京都のむかし

【平安京】

794年、桓武天皇は都を京都に移し、平安京と名付けました。平安京の広さは東西4.5km、南北5.2kmにわたりました。1868年明治維新によって、都が京都から東京に移されるまで、約1000年の間、日本の都として栄えました。

【栄える藤原氏】

866年、藤原氏を中心とする貴族の華やかな生活が始まり、藤原道長、頼通の時代が最も栄えました。

【武士の世の中へ】

1192年、源頼朝が征夷大将軍になると、貴族の世の中から武士の世の中へと変化していきました。武芸に励み、質素な生活が中心となり「ご恩と奉公」という関係が生まれるのもこの時代です。室町時代には足利氏が権力を握り、足利義満のころに最盛期を迎えました。また、茶の湯や生け花など、町や村の人々が楽しむ文化が生まれ、今に受け継がれているものもたくさんあります。

【戦国の世から江戸の世へ】

安土桃山時代から江戸時代にかけて二条城や西本願寺などの城や寺社が建てられました。美術工芸が盛んになり立派で美しいふすま絵がえがかれしました。京都は東海道五十三次の終点で、西国への入り口でもあり、陸上交通の重要な場所でした。

京都の見学地

東寺（教王護国寺） 世界遺産



都が平安京に移った2年後の796年に、乱れていた国を治めるために、平安京の玄関口である羅城門の左右に寺が建てられました。それが東寺と西寺です。（今は、西寺は存在しません）その後、東寺は空海（弘法大師）に託され、真言密教の中心として栄えました。空海に対する信仰が高まるとともに「お大師様の寺」として庶民の信仰を集めました。

京都のシンボリックな存在といえは、東寺の五重塔です。徳川家光が再建したものです。高さは55mもあり、日本で一番高い木造塔です。国宝にも指定されています。ほかにも豊臣秀頼が再建した金堂や、空海が住んでいたとされる御影堂も国宝に指定されています。講堂には国宝を含む21体の仏像が安置されるなど、仏教美術の宝庫です。



東寺 五重塔

西本願寺 世界遺産 ・ 東本願寺

西・東本願寺は、親鸞の開いた浄土真宗の本山です。1591年、豊臣秀吉が現在の堀川の場所に土地を与え建てられました。その後、1602年に徳川家康が現在の烏丸の場所に土地を与え、本願寺は東西に分派しました。



西本願寺 唐門

西本願寺には桃山時代の建物が多く移されており、飛雲閣や唐門など国宝に指定されているものがたくさんあります。また、親鸞聖人像がある御影堂の前には市指定天然記念物の大銀杏があります。

東本願寺にも親鸞聖人像がある御影堂があり、世界最大級の木造建築です。この御影堂や阿彌陀堂を建てるための巨材運ばんに使われた「毛綱」（髪の毛と麻を綱にしたもの）が展示されています。



東本願寺 御影堂

(写真提供 東本願寺)



●東寺（教王護国寺）

近鉄京都線 東寺駅
市バス 東寺南門前・九条大宮
東寺東門前・東寺西門前
京都駅
JR 京都駅
拝観料 境内自由（有料拝観有り）
金堂、講堂 500円
開門時間 5:00～17:00
拝観時間
金堂、講堂 8:00～17:00
（拝観受付は30分前まで）
宝物館、観智院 9:00～17:00
（受付は30分前まで）
TEL 075-691-3325

○空海が住んでいた御影堂
空海が住んでいた西院には、不動明王がまつられていたが、鎌倉時代に前堂に空海の像が安置されることになり、御影堂とよばれるようになった。現在の建物は1380年の再建である。今でも毎月21日の命日に御影堂で行われる御影供（正御影供は4月21日）は「弘法さん」とよばれて大勢の参詣者でにぎわう。



●西本願寺

市バス 西本願寺前・七条堀川
島原口
拝観料 無料
拝観時間 5:30～17:00
TEL 075-371-5181



●東本願寺

地下鉄 五条駅
市バス 烏丸七条・烏丸九条
JR 京都駅
拝観料 無料
拝観時間
3月～10月 5:50～17:30
11月～2月 6:20～16:30
TEL 075-371-9181

調べてみよう

空海 親鸞



●二条城
地下鉄 二条城前駅
市バス 二条城前
入城料 300円
見学時間 8:45~16:00
休殿日 12/29~12/31
TEL 075-841-0096

二条城の大広間は、とても広くて、豪華な
いすがたくさんあり、
驚きました。鶯張りの
廊下を歩くと、キュッ
キュッとかわいらしい
音がしました。二の丸
庭園に出て、歩いてい
くと、鶯張りの仕組み
をのぞきこむことがで
きる場所がありました。
のぞきこんで見てみる
と、金具が面白い形に
組んであり、音がなる
仕組みが分かりました。
昔の人の知恵を見た気
がしました。

音のバリエーション

徳川家康 大政奉還
徳川慶喜

二条城 世界遺産

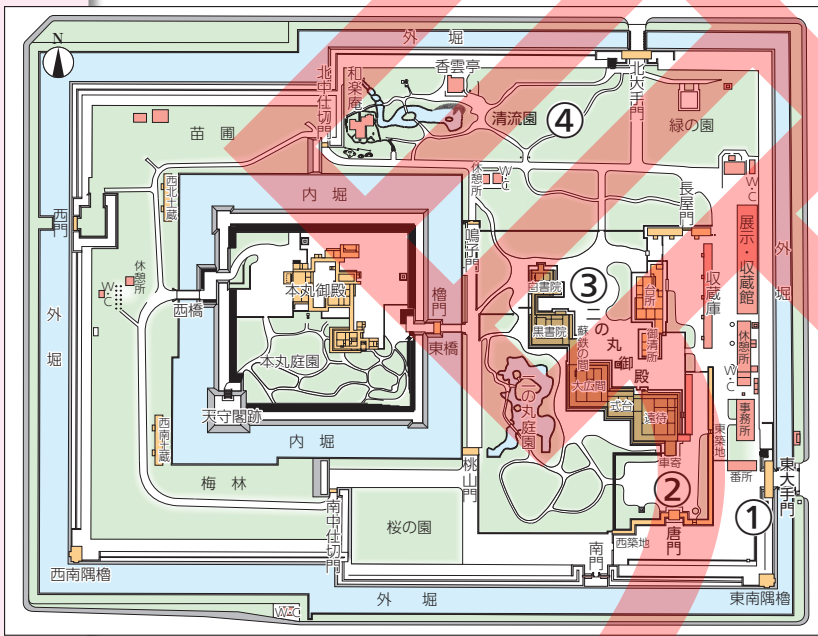


二条城は、1603年、徳川家康が上洛した時の宿泊所として造られました。そして、江戸幕府3代将軍家光が、大規模な改修を行い、1626年に完成したものです。その後、天守閣などが落雷により焼失しました。



二の丸御殿

城内には、江戸幕府15代将軍慶喜が大政奉還を発表した大広間があり、徳川家の繁栄と衰退を見守ってきたお城といえるでしょう。
①東大手門(重要文化財)から入ると、②唐門(重要文化財)にいたります。次に33室、800畳もある③二の丸御殿(国宝)です。中には、表と裏で柄の違う絵が彫られた「すかし彫り」のらんまや金ぱくを使った狩野派の美しいふすま絵があります。廊下は、キュッキュッと鳴る「鶯張り」になっています。屋外に出てしばらく歩くと見事な庭園④清流園を見ることができます。池泉回遊式の和風庭園部分と芝生を主体にした洋風庭園部分からなる、和洋折衷庭園です。



(資料提供 元離宮二条城事務所)



●三十三間堂(蓮華王院)
京阪本線 七条駅
市バス 博物館三十三間堂前
拝観料 300円
拝観時間
4/1~11/15 8:30~17:00
11/16~3/31 9:00~16:00
(拝観受付は30分前まで)
TEL 075-561-0467

○千手観音像は本当に千本の手? 観音像は、11の顔をつけ、40本の手をもち、1本の手が25種類の世界を救う働きをし、40を25倍して「千手」を表している。また、観音像の中には必ず会いたい人に似ているものがあるとされている。

●本能寺

地下鉄 市役所前駅
京阪本線 三条駅
阪急京都線 京都河原町駅
京都バス 河原町三条停
市バス 市役所前
拝観料 無料
拝観時間 6:00~17:00
TEL 075-231-5335

大寶殿宝物館

拝観料 300円
※大寶殿特別展開催期間中は料金が異なります。
拝観時間 9:00~17:00
(入館は16:30まで)
休館日 年末年始、展示替え日



本能寺跡

三十三間堂(蓮華王院)



1164年、後白河上皇の命令で平清盛がつくりました。本堂(国宝)の柱の間が三十三あるので三十三間堂と呼ばれます。お堂の長さは約120mあり、木造建築では日本一の長さです。



三十三間堂

本堂の中には千手観音坐像(国宝)とその両側に500体ずつの千手観音立像(国宝)が並んでいます。合わせて1001体の千手観音像を前にすると圧倒されます。またそれらを守るように従う二十八部衆(国宝)が立ちはだかっています。

また、江戸時代にはお堂の軒下で、一昼夜で何本の矢を射通すかという「通し矢」が盛んに行われました。今でも「通し矢」にちなんだ行事が1月中旬に毎年行われます。



千手観音立像群(正面)

●本能寺

1415年、日隆聖人によって創建されました。当初は、「本応寺」という漢字が使われていました。1582年、この寺を宿所としていた織田信長が、明智光秀の率いる軍勢に包囲され襲われるという本能寺の変が起きて、お寺が燃えてしまいました。現在は中京区元本能寺南町に本能寺跡の石碑があります。信長公記では、信長が切腹したとされていますが、遺体は発見されず、その最期は明らかになっていません。1591年に、豊臣秀吉の命で現在の場所(中京区下本能寺前町)へと移転させられました。



本能寺





●清水寺

市バス 清水道 五条坂
拝観料 200円
拝観時間 6:00~18:00
7~8月 ~18:30
11月中旬~下旬 ~21:30
(秋の夜間特別拝観あり)
TEL 075-551-1234

○観音さまとは？

観音さまは、大悲の菩薩とも呼ばれている。大きなあわれみをもって、悟りを開く修行をしている方である。観音さまの姿もいろいろで、頭が増えたり、手が増えたりするとよりあわれみ深く、力が強いとされている。清水寺の本堂にあるのは「十一面千手観世音菩薩」。

○力試しに挑戦

清水寺には、重さ90kg以上の大きな杖と14kgの小さな杖、12kgの高下駄がある。あまりの重さに「弁慶の杖と高下駄」とも呼ばれている。参詣の記念に挑戦してみては？

♪調べたみよう

徳川家光 坂上田村麻呂

清水の舞台からのながめは、とてもすばらしく、京都タワーや京都駅など京都の町並みが見えました。音羽の滝のご利益を受けるためには、滝の後ろにある音羽の祠にお祈りしてから水を飲むといらしいよ。帰りに本堂を見上げました。木だけでつくられた舞台の大きさにびっくりしました。



きよ みず 寺

世界遺産



奈良時代末の778年に延鎮上人が音羽の滝近くで、観音様をまつたのがはじまりです。その後、坂上田村麻呂が本堂を建てました。清水寺の名の由来は、音羽山中より今なお湧き続ける清水にちなんだものです。

清水坂を上がったところに、赤門と呼ばれる①仁王門があります。

そのわきには鎌倉時代の様式が表された力強い仁王像がまつられています。さらに進むと、②轟門があり歯痛に効くといわれる「鼻の手水鉢」、③朝倉堂の庭にはなでと足腰に効くという「仏足石」、本堂西廊下に力試しの高下駄と杖があります。そして、「清水の舞台から飛び降りる」という言葉で有名な④本堂に入ります。これは、江戸時代徳川家光が建てたもので、くぎを一本も使わず、168本の柱を組み合わせられて建てられています。高さは約13mあります。舞台の下からあおぎ見ると、その様子がよく分かります。本堂下には、学問・恋愛・病気にご利益があるとされる⑤「音羽の滝」があります。



清水寺



●建仁寺

市バス 東山安井 祇園など
京阪本線 祇園四条駅
阪急京都線 京都河原町駅
拝観料 小学生 500円
拝観時間 10:00~17:00
(拝観受付は30分前まで)
拝観休止日 4/19・20, 6/4・5
TEL 075-561-6363
※子どもみの拝観は不可。

○臨濟宗を開いた人が栄西。

●知恩院

市バス 知恩院前
地下鉄東西線 東山駅
京阪本線 祇園四条駅
阪急京都線 京都河原町駅
拝観時間 9:00~16:00
(拝観受付は30分前まで)
(方丈庭園は15:50まで)
拝観料 境内は無料
友禅苑 150円
方丈庭園 200円
共通券 250円
TEL 075-531-2140

○知恩院の七不思議

「鷲張りの廊下」「白木の檜」「忘れ傘」「抜け雀」「三方正面真向の猫」「大杓子」「瓜生石」の七不思議がある。

●八坂神社

市バス 祇園
京阪本線 祇園四条駅
阪急京都線 京都河原町駅
拝観料 無料
TEL 075-561-6155

けん にん 寺



鎌倉時代の1202年(建仁2年)に鎌倉幕府2代将軍源頼家が、栄西を初代住職として迎え、建てました。京都最古の禅寺で、依屋宗達の代表作として名高い風神雷神屏風(国宝)が有名です。

※現在は、京都国立博物館に寄託されており、建仁寺では、高精細複製作品が展示されています。



建仁寺 法堂

ち おん いん



浄土宗を開いた法然ゆかりの地に建てられた寺院で、現在のような大規模な建物が建てられたのは江戸時代に入ってからのことです。

三 門 (国宝・江戸時代)

1621年に江戸幕府2代将軍徳川秀忠の命により建てられました。

高さ24mの門で、現存する日本の木造建築の中で最大級の門です。



知恩院 三門

み せい どう

1639年江戸幕府3代将軍徳川家光によって再建されました。法然の木像を安置することから御影堂と呼ばれています。

間口45m、奥行35m、周囲に幅3mの大外縁をめぐらせた建築物で江戸幕府の力の大きさを示しています。屋根の上の中央に屋根瓦が2枚残されています。あえて未完成な部分を残すことで、知恩院(浄土宗)が発展し続けることを願っていると考えられています。

や さか じん じゃ



八坂神社 656年にはじめてまつられたとされ、その後祇園社と呼ばれた古くからある神社です。平安時代中期ごろから一帯の土地の守り神として信じられるようになり、朝廷からも敬われました。明治維新のときに八坂神社と名前を変えましたが、今でも京都の人々からは「祇園さん」の名で親しまれています。また、八坂神社のお祭りとして有名な祇園祭は、869年に各地で病気が流行した際にその疫病をもたらず霊を鎮めるために行われた祭りがはじまりです。



八坂神社



●銀閣

市バス 銀閣寺前・銀閣寺道
拝観料 300円
拝観時間
3/1~11/30 8:30~17:00
12/1~2月末 9:00~16:30
TEL 075-771-5725



慈照寺 銀閣 (写真提供 慈照寺)

語彙

足利義政 東山文化 書院造



8代將軍足利義政のころの文化のことを東山文化といいます。現在の日本の住宅建築の原型となった書院造や禅宗の影響を受けた庭園がつくられるようになりました。床に畳をしきつめた座敷が作られ、床の間もあります。部屋と部屋の間をふすまで仕切ったり、明かりの入る障子も使われたりしました。中国文化の影響を受けて水墨画が発達しました。

じしゅうじ ぎんかく 慈照寺 銀閣

世界遺産



室町時代の1489年に室町幕府8代將軍足利義政が、金閣に
なつて建てた別荘で、死後、臨済宗の寺になりました。当時の建
物は銀閣(観音殿)と東求堂のみで東山文化を代表する建物です。
銀閣は2層からなっています。1階が心空殿(住宅風)、2階が潮
音閣(禅宗様)の仏堂で観音様が安置されています。実際には銀ば
くははられず、うるしがぬられていました。

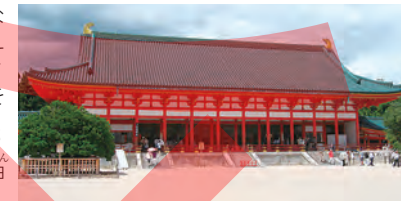
①総門を抜けると②中門まで③銀閣寺垣と呼ばれる竹垣で囲
まれた細長い空間が続きます。拝観受付を過ぎると慈照寺の象徴と
いうべき④銀閣(観音殿)が見えます。さらに進むと江戸時代につ
くられた庭園があり、白川砂を富士山型に盛り上げた④向月台、そ
の手前にしま模様をつけた⑤銀沙灘があります。それらは、月の光
を反射して銀閣を照らすと言われ、銀閣とのコントラストは訪れる
人を立ち去り難くさせます。⑦本堂を過ぎると⑧東求堂が見えま
す。東求堂内には4畳半間取りのもとになった同仁齋と呼ばれる日
本最古の書院造の部屋があります。春と秋には、本堂・東求堂・弄
清亭の特別公開が行われます。山麓の遊歩道に進めば銀閣全景と京
都市街が一望できる④展望所があります。

へいあんじんぐう 平安神宮



1895年(明治28年)、平安遷都1100年を記念してつくら
れました。この神宮には、平安遷都を行った桓武天皇と京都御所に
住んだ最後の天皇の孝明天皇がまつられています。「弘法も筆のあ
やまり」のことわざの由来になったと言われる応天門から中に入る
と、大極殿があります。平安京の大内裏を8分の5に縮小したもの
で、朱ぬりの柱と緑色の屋根がとてもあざやかです。

明治時代の代表的な池泉回遊式日本庭園として
知られる神苑は、大極殿を
囲むように広がり、3万3
千m²もあります。「東神
苑」「中神苑」「西神苑」
「南神苑」の4つに分かれ、それぞれ趣がちがいます。中でも、南
神苑のベニシダレザクラと西神苑のハナショウブは有名です。ま
た、平安神宮が建てられた年に日本初の路面電車が京都に敷かれた
ことを記念して、その車両が置かれています。



平安神宮 大極殿

なんぜんじ 南禅寺



1291年龜山法皇の願いで建てられた禅寺です。京都五山お
よび鎌倉五山の上におかれる別格扱いの寺院で、日本の禅寺の中
でも高い格式をもっています。

境内には、日本三大門に
数えられる三門がそびえ立ち、
楼上(門の上)からは京都市街
が一望できます。茶人小堀遠
州がつくったという大方丈の枯
山水庭園「虎の子渡しの庭」や
小方丈にある狩野探幽作のふす
ま絵「群虎図」、鎌倉時代の代
表的庭園のある南禅院などが見
所です。また、明治以降建設さ
れた琵琶湖疏水水路閣は、毎秒
2tの水が流れ、京都市民の生
活を潤しています。



南禅寺 三門



琵琶湖疏水水路閣



●平安神宮

市バス 岡崎公園 美術館・平安神宮前
地下鉄東西線 東山駅
京阪鴨東線 神宮丸太町駅
参拝料 無料
境内参拝時間 6:00~18:00
神苑参拝料 300円
神苑参拝時間 8:30~17:30
(拝観受付は30分前まで)
季節変動あり
TEL 075-761-0221
※神苑参拝料は修学旅行パスポー
トの提示、または事前の減免申
請で半額になる。

○「弘法も筆のあやまり」?
かつての応天門にかけられた
「應天門」のがくは弘法大師がか
けた後に、「應」の字の点を加
えたそうである。このことから
「弘法も筆のあやまり」のこ
とわざが生まれたと言われている。

●南禅寺

市バス 東天王町
南禅寺・永観堂道
地下鉄東西線 蹴上駅
拝観料・拝観時間
境内は自由
休日 12/28~12/31
拝観料 方丈庭園 400円
三門 400円
南禅院 250円
拝観時間
12/1~2/28 8:40~16:30
3/1~11/30 8:40~17:00
(拝観受付は20分前まで)
TEL 075-771-0365

○「絶景かな 絶景かな」
南禅寺三門は、歌舞伎「楼門五
三桐」の石川五右衛門の名台詞
「絶景かな」で大変有名である。
しかし、実際の三門は五右衛門の
死後30年以上たった後に再建さ
れたものである。ということは実
は、石川五右衛門は、南禅寺三門
からの絶景を見ていないのである。



●金閣

市バス 金閣寺道
拝観料 300円
拝観時間 9:00~17:00
TEL 075-461-0013

○鳳凰とは

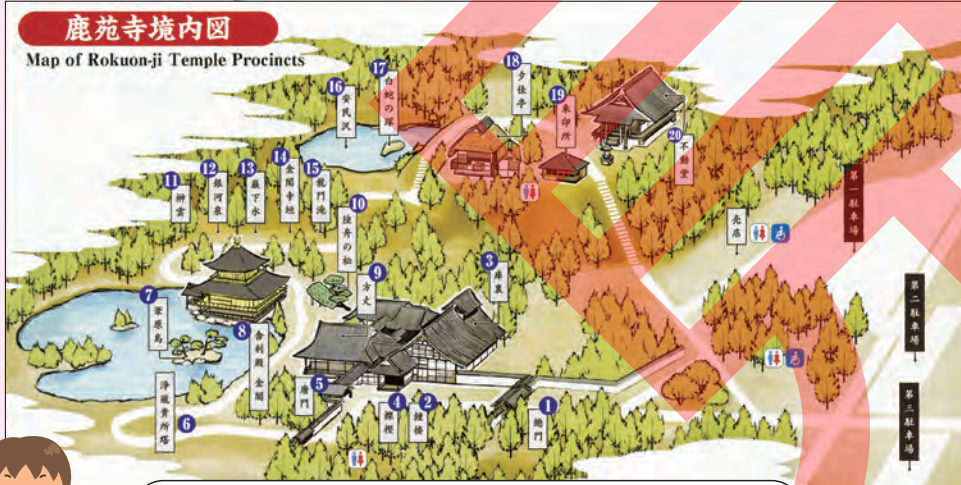
中国の伝説の鳥。首はヘビのように長く、ニワトリのくちばしと五色の羽をもつとされている。世の中が平和なときに、東北より太陽の光に乗って飛んでくるめでたい鳥と言われている。

語訳ベネミョウ

足利義満 寝殿造 北山文化



鹿苑寺 金閣 (写真提供 鹿苑寺)



室町時代の初期、3代將軍足利義満のころの文化のことを北山文化といえます。武家文化と公家文化が交じりあい、禪宗の影響も受けた優美で華やかな文化でした。観阿弥と世阿弥の父子が、能をつくりあげました。

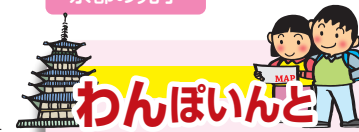
ろくおんじ きんかく 鹿苑寺 金閣

世界遺産



室町時代の1397年に室町幕府3代將軍足利義満が別荘として建てたもので、死後、禪寺となり、鹿苑寺と名づけられました。黄金色に輝く金閣は、釈迦の骨をまつた舍利殿です。3層からなり、2・3層に金箔がはられています。層によって建築方式が違い、1層が寝殿造、2層が武家造、3層が禅宗仏殿造になっています。屋根には、金色の鳳凰がかがやいています。ただ、義満が建てた金閣は、1950年に放火され、焼失してしまいました。今の金閣は、焼失5年後に復元されたもので、その風雅な建築と庭園の調和美を見せて、京都随一の観光寺院となっています。

参拝門を過ぎると室町時代の代表的な池泉回遊式庭園があらわれます。その中心の葦原島などが浮かぶ池（鏡湖池）をバックに金閣が見えてきます。右手に⑨方丈を見ながら進むと目の前に金閣が迫り、その輝きに圧倒されます。金閣をあとに進むと義満がお茶の水に使ったと伝えられる⑩銀河泉、義満が手を清めたという⑪殿下水があります。さらに進むと鯉が滝を登る姿に例えた鯉魚石が目を引き⑫龍門滝、日照りが続いても涸れないので雨乞いの場とされた⑬安民沢があり、⑭夕佳亭に至ります。夕佳亭は、「南天の床柱」と「萩の違い棚」で有名な茶室で、その前には、「銀閣」を建てた8代將軍足利義政が愛用した石灯籠と富士形の手水鉢があります。



●北野天満宮

市バス 北野天満宮前
京福電鉄北野線 北野白梅町
参拝時間 7:00~17:00
宝物殿
料金 250円
開館時間 9:00~16:00
開館日 御縁日(毎月25日・1月1日)
梅苑、青もみじ、紅葉シーズン
ほか
TEL 075-461-0005

○北野の七不思議(唯一の立ち牛)
牛は、天神様の神の使いとなっており、境内各所に神牛の像があり、すべて構たわっている。しかし、拝殿欄間の彫刻には立った姿の神牛が刻まれている。なぜ一頭だけ立像の牛があるのかは神秘的で今も謎とされている。自分たちで探してみよう。

●龍安寺

市バス 龍安寺前 立命館大学前
JRバス 龍安寺前
京福電鉄北野線 龍安寺駅
拝観料 300円
拝観時間
3月~11月 8:00~17:00
12月~2月 8:30~16:30
TEL 075-463-2216

語訳ベネミョウ

菅原道真 桃山文化

○枯山水とは
水を一滴も使わず、白い砂で水を岩で滝を表現した庭園のこと。

きたのてんまんぐう 北野天満宮



北野天満宮は、平安時代に学者出身の政治家として活躍した菅原道真をおまつりした全国天満宮・天神社一万二千社の総本社の神社です。学問の神様として「北野の天神様」と親しまれています。

中門は日・月・星の彫刻があるため、三光門と呼ばれていますが、星の彫刻が見られないと言われ、別名「星欠けの三光門」言われています。それをくぐると本殿(国宝)があります。この本殿は、豊臣秀吉の遺志を受け継ぎ、子の秀頼が建てたもので、絢爛豪華な桃山文化を今に伝えています。また境内の内外には、50種1500本もの梅が植えられており、梅の花の咲くころは、受験シーズンとも重なり、多くの参拝者が訪れます。毎月25日(天神様の誕生日と命日)の「天神市」に露店がずらりと並び、あわせて宝物殿も開館日となっています。



北野天満宮 本殿

りょうあんじ 龍安寺

世界遺産



龍安寺は、1450年に室町幕府の有力な大名である細川勝元が別荘を寺としたのがはじまりです。枯山水の石庭(方丈庭園)は、日本庭園史上の中でもけっ作中のけっ作として知られ、世界遺産にも登録されています。

幅25m、奥行10mほどのわずかな空間に、草や木が1本もなく、一面に白砂をしきつめ、大小15個の石を置いただけのシンプルな庭です。白砂と石だけであらわされた世界は、不用なものをはぶいた簡潔な美しさをあらわし、緊張感を与えています。縁側からながめると、一度にすべての石を見ることができないように配置されています。室町時代後期につくられたと推定されていますが、誰がどういう意図をもってつくったかということはなぞのままです。



龍安寺 石庭



●仁和寺

市バス・JRバス・御室仁和寺前
京福電鉄北野線 御室仁和寺駅
境内 無料 (桜まつり期間外)
御殿
拝観料 無料
拝観時間
3~11月 9:00~17:00
12~2月 9:00~16:30
(拝観受付は30分前まで)

霊宝館
拝観料 無料
拝観時間 9:00~16:30
開館期間(年間3回の期間限定開催)
春期: 4月から1か月程度
夏期: 7~8月(年によって変動あり)
秋期: 10月から1か月程度
TEL 075-461-1155

●大徳寺

市バス 大徳寺前
大徳寺本坊
非公開(特別拝観のみ)
TEL 075-491-0019

○拝観可能な塔頭

- ①龍源院 9:00~16:30 200円
修学旅行のパスポート提示 150円
075-491-7635
- ②瑞峯院 9:00~17:00 400円
075-491-1454
- ③大仙院 9:00~17:00 300円
(12・12月は16:30まで)
075-491-8346

○大徳寺納豆

大徳寺に伝わる食べ物に、「大徳寺納豆」という独特なものがある。大徳寺の名僧一休和尚が中国の禅僧から教えられたものを大徳寺に伝えたという説がある。糸を引く納豆とは全く別物で、色は黒く塩が利いている。納豆というより赤味噌に近い食べ物である。

語訳ベネミよう
応仁の乱 千利休

仁和寺

世界遺産



平安時代、宇多法皇が建てた真言宗のお寺です。宇多法皇が住んだことから「御室御所」と呼ばれ、その後も江戸時代終わりまで皇室と深い関係が続き、応仁の乱で建物は全焼しましたが、江戸幕府3代将軍徳川家光の時代に、それまでの御所(天皇の住居)の建物を使い金堂(国宝)と御影堂が建てられました。その他、五重塔をはじめ建物の大部分が家光の寄付で整備されました。

堂々とした二王門を入ると広大な境内が広がっています。境内に咲く御室桜は、遅咲きの八重桜として有名で、中門の左手一帯にあり国の名勝に指定されています。御室桜越しに見る五重塔は京都を代表する景観として、多くの観光客が訪れます。



御室桜と五重塔

また、霊宝館には、仁和寺が建てられた時の本尊といわれる木像阿彌陀三尊像などの国宝がおさめられています。

大徳寺



鎌倉時代末期の1315年に建てられた禅宗のお寺で、京都でも有数の規模をほこります。応仁の乱で荒れましたが、一休和尚が堺の豪商らの協力をえて復興させました。桃山時代には豊臣秀吉が織田信長の葬儀を行い、亡くなった信長のために総見院を建てました。それをきっかけに戦国武将のための塔頭(大寺院の中に建てられた小寺院)が次々に建てられ、大いに栄えました。大徳寺は、一休和尚をはじめとする多くの名僧を出してきました。また、千利休など多くの茶人と関係が深く、日本の文化に大きな影響を与え続けてきました。

現在は、勅使門、金毛閣(千利休が秀吉の怒りをかい自決の原因になった山門)、仏殿、法堂を建物の外から見る事ができます。聚楽第の遺構と伝えられる唐門(国宝)や方丈(国宝)は非公開のため見ることはできませんが、秋の特別公開で方丈内の狩野探幽のふすま絵などが公開されます。



金毛閣

天龍寺

世界遺産

嵐山

天龍寺は、1339年、足利尊氏が後醍醐天皇をとむらうために建てた寺です。当初は、年号をとって「曆応資聖禅寺」になる予定でしたが、尊氏の弟、直義が寺の南の大堰川に金龍のまう夢を見たことから、「天龍資聖禅寺」となりました。この寺を建てるために、元(中国)に天龍寺船という貿易船を出してお金を集めました。天龍寺は、京都五山の第一として栄え、約950万m²もある広い寺でした。しかし、度重なる火災や戦争のため、現在の大部分は明治時代後半以降のものです。

天龍寺の門を入ると、左手に嵐山を見ることができます。嵐山は、春の桜、秋の紅葉、冬の雪景色と四季の風景が楽しめます。嵐山のふもとには大堰川が流れます。大堰川にかかる渡月橋を渡れば、時代劇気分を味わうことができます。



嵐山と渡月橋

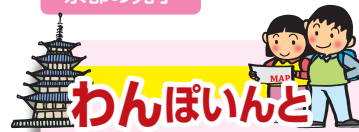
広隆寺

603年に、聖徳太子を助けて活やくしたことで知られる渡来人の秦河勝が建てたとされています。平安京に都が移されたとき、今の場所に移されたと言われる、京都で最古のお寺です。法隆寺とともに、聖徳太子と関係の深い寺の一つです。

広隆寺には、有名な仏像が数多くあります。その中でも特に有名なものは弥勒菩薩像です。弥勒菩薩像は二体あります。一体は、国宝彫刻の部第1号に指定されている「宝冠弥勒」で、美しいほほえみをたたえています。もう一体は、泣いている表情のため「泣き弥勒」あるいは「宝髻弥勒」と言われています。その他にも、聖徳太子の33才ころの姿を写したと言われている聖徳太子立像などがあります。



広隆寺 宝冠弥勒



●天龍寺

京都バス 京福嵐山駅前
市バス 嵐山天龍寺前
京福電鉄嵐山本線 嵐山駅
拝観料 600円
(庭園のみは300円)
拝観時間 8:30~17:00
TEL 075-881-1235
法堂「雲龍図」特別公開
拝観料 500円
拝観時間 9:00~16:30
土日祝日のみ
(春夏秋は毎日公開期間あり)

語訳ベネミよう

足利尊氏 後醍醐天皇
京都五山

○渡月橋という名前の由来
平安時代、当時の亀山上皇が曇りのない夜空に月が橋を渡るような動きをしているのを見て、「くまなき月の渡るに似る」と感想を述べられたことから、渡月橋と呼ばれている。

●広隆寺

京福電鉄嵐山本線 太秦広隆寺駅
京都バス・市バス 太秦広隆寺前
拝観料 400円(霊宝殿)
※桂宮院は非公開。
拝観時間
3月~11月 9:00~17:00
12月~2月 9:00~16:30
TEL 075-861-1461

○広隆寺のはじまり

「日本書紀」に、聖徳太子が「私は尊い仏像を持っている。だけれかこの仏をまつものはいないか」と聞かれたとき、秦河勝が「私がおまつりします」と言って、蜂岡寺を建てたと書かれている。広隆寺は、この蜂岡寺のほか、秦寺などいろいろな名前と呼ばれた。

語訳ベネミよう

渡来人



●醍醐寺

地下鉄 醍醐駅
京阪バス 醍醐寺前
京都醍醐寺ライン 醍醐寺
拝観料 無料(小学生以下)
拝観時間 9:00~17:00
冬期(12月の第1日曜日の翌日~2月末日)は、9:00~16:30
(拝観受付は閉門30分前まで)
TEL 075-571-0002

○三宝院

現在の建物は豊臣秀吉の援助で再興したもの。公家風寝殿造と武家の書院造が折衷された桃山期の典型的な様式である。

○醍醐寺 五重塔

醍醐天皇の冥福を祈るために朱雀天皇が起工し、951年に完成した。

●平等院

JR奈良線 宇治駅
京阪宇治線 宇治駅
拝観料 300円(鳳翔館含む)
(鳳凰堂内部300円追加)
拝観時間 8:30~17:30
鳳翔館開館時間 9:00~17:00
(受付終了 16:45)
鳳凰堂内部拝観時間 9:30~16:10
(受付時間 9:00~先着順)
TEL 0774-21-2861

○10円玉のデザイン

平等院鳳凰堂の大きさは、高さ約13.5m、南北約47m、東西約35mで、左右の鳳凰にはおすめすの区別はない。

日本の代表的な文化財で建物に特徴があるために、10円玉のデザインに昭和26年に選ばれた。

🗨️👉👈🗨️

源氏物語 藤原道長 豊臣秀吉

だいごじ寺 世界遺産



874年、聖宝という僧侶が、現在の醍醐山と呼ばれる山に登って、山頂に観音様を安置する建物を建てたのが、醍醐寺のはじまりと言われてます。政治の中心にあった人たちとの関係も深く、特に、豊臣秀吉が醍醐寺で1598年に開いた「醍醐の花見」は、とても有名です。

醍醐寺は、醍醐山全体に広がっています。山の上の方を上醍醐、下の方を下醍醐と言います。総門を入ると、正面に仁王門、左手に三宝院があります。仁王門をくぐると、国宝に指定されている金堂や雄大な五重塔を見ることができます。上醍醐へは、下醍醐から山道を1時間ほど登っていきます。国宝、重要文化財に指定されている数多くの建物を見ることができます。



醍醐寺 五重塔

びやうどういん 平等院 世界遺産



平安貴族の一人で、源氏物語の主人公「光源氏」の實在のモデルの一人と言われる源融が建てた別荘を、後に藤原道長が所有しました。1052年、道長の子、頼通がこの別荘地に本堂などを建て、寺に改めたのが、平等院のはじまりです。

平安時代後期の庭園・建造物・美術工芸品がそろっています。平等院鳳凰堂として知られる阿彌陀堂(国宝)は、入母屋造の中堂と方形造の楼閣、切妻造の翼廊からできています。

本尊の阿彌陀如来像(国宝)は、定朝のけっ作です。高さ約3mという寄木造の像で、温かく柔らかな、しかもどっしりとした感じが表現されています。



平等院 鳳凰堂 (写真提供 平等院)

ふしみいなりたいしゃ 伏見稲荷大社



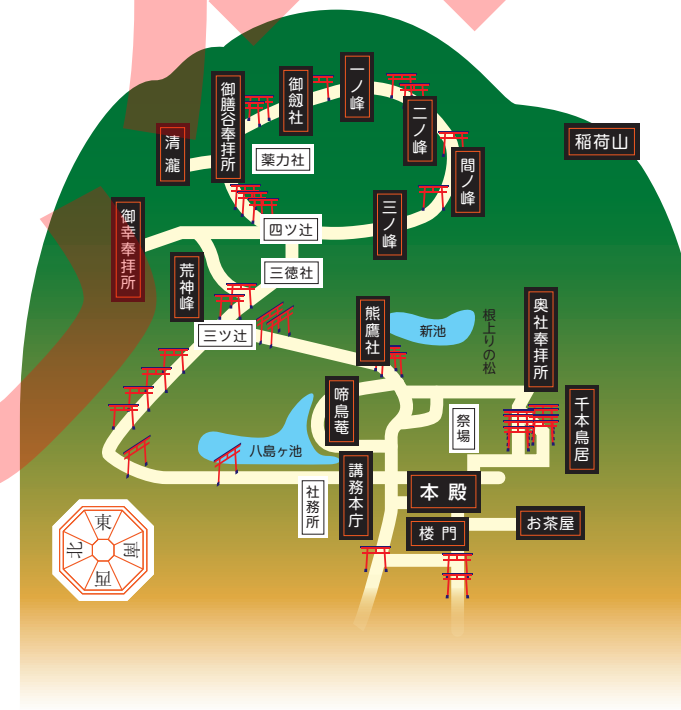
私たちにとって、もっとも身近な神社といえる「お稲荷さん」。全国に約30,000社あるといわれ、全国各地で老若男女を問わず親しまれています。その総本宮が伏見稲荷大社です。

711年に稲荷大神様がまつられたとされ、2011年に御鎮座1300年を迎えました。商売繁昌や五穀豊穡の守護神として信仰を集め、今日これらの信仰は続いています。初詣は、関西でも屈指の参拝者数を誇ります。



楼門

境内には、たくさんの鳥居が並んでいます。これは、人々の願い事が「通りますように」という祈りと「通りました」というお礼の意味から、鳥居が奉納され、江戸時代以降に広がった結果です。現在は、大小約1万基の鳥居が稲荷山の参道全体に並んで建っています。



境内案内図



●伏見稲荷大社

JR奈良線 稲荷駅
京阪本線 伏見稲荷駅
市バス 稲荷大社前
拝観料 無料
拝観時間 自由
授与所(8:30~16:30)
年中無休
TEL 075-641-7331

○なぜ「イナリ」と名前がついたの?
古い文献によると、「イネが生った」ところから名付けられたとされています。

○「お稲荷さん」ときつねの関係は?
「稲荷大神様」のお使いは、きつねとされています。ただし、山にいたきつねではなく、大神様同様にわたしたちの目には見えません。もちろん「稲荷大神様」はきつねではありません。

🗨️👉👈🗨️

清少納言

稲荷山に続く山道には、鳥居が並んでいました。整然と並びその姿は、すこく鮮やかできれいでした。鳥居をくぐるたびに、ご利益を受けているような気持ちになりました。



奈良・京都歴史年表

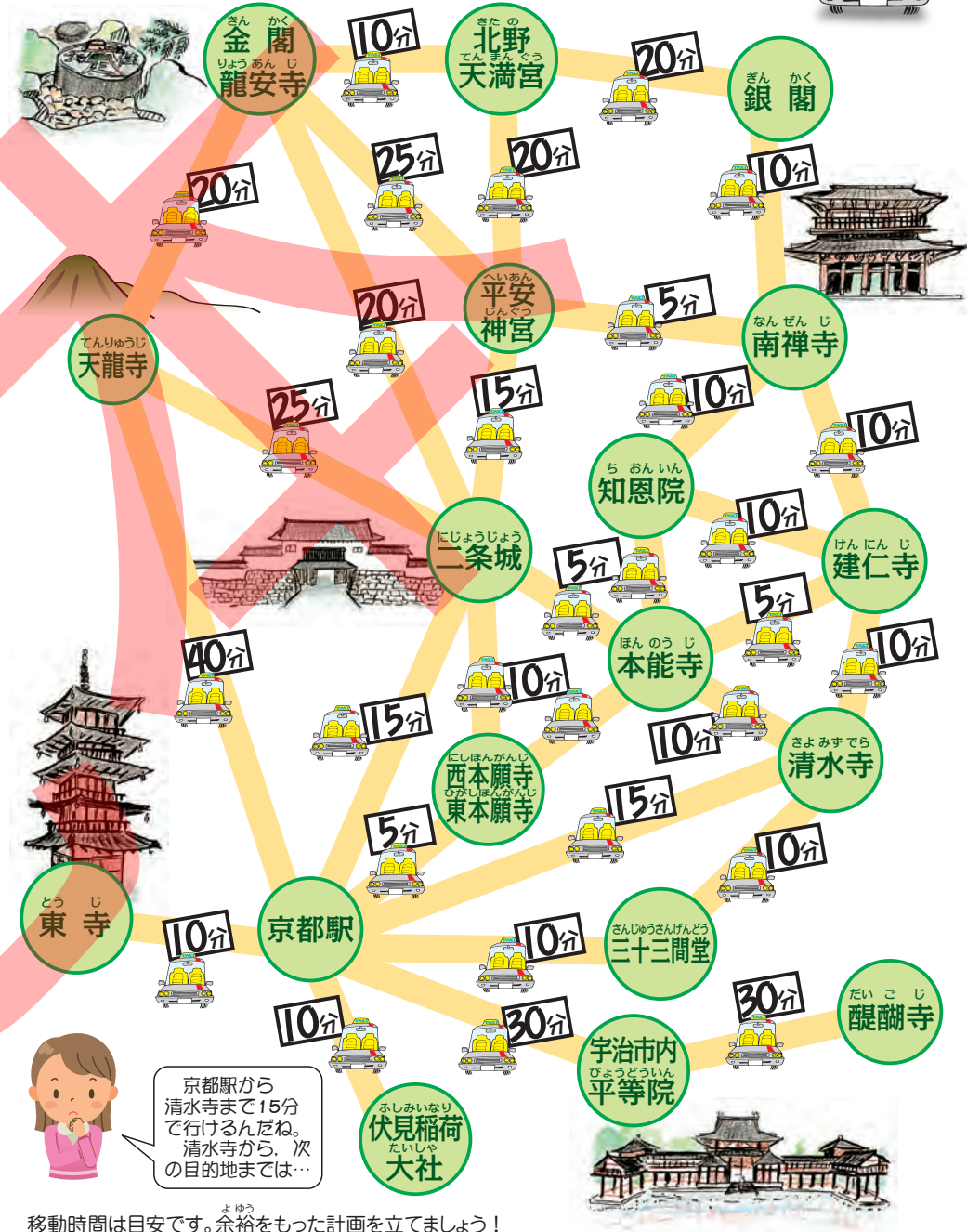
時代	年	こと が ら	参照ページ
古墳(飛鳥)	6世紀中	百濟より仏教が伝わる。	
	593	聖徳太子が摂政となる。	3
	596	・飛鳥寺ができる。	16
	603	・広隆寺ができる。	30
	606	・橘寺ができる。	16
	607	・聖徳太子が法隆寺を建てる。	13
		聖徳太子が小野妹子を隋に送る。	
	609	・日本最古の飛鳥大仏ができる。	16
	623	・法隆寺の釈迦三尊像ができる。	14
	645	中大兄皇子、中臣鎌足らによって大化の改新が始まる。	3
	670	・法隆寺が焼失する。	13
	698	・薬師寺ができる。	12
奈良	710	奈良に都(平城京)がおかれる。	3・4
		・興福寺ができる。	11
	8世紀初	・法隆寺金堂、五重塔などが再建される。 (世界最古の木造建築)	13・14
	730	・興福寺の五重塔ができる。(1426年に再建)	11
	739	・法隆寺の夢殿ができる。	14
	741	聖武天皇が国分寺を建てるように命じる。	7
	743	聖武天皇が大仏をつくるように命じる。 (行基らが中心になり寄付を集める。)	7・8
		752	・大仏ができ開眼供養が行われる。
	756	・校倉造の正倉院正倉(宝物庫)ができる。	9
	759	・鑑真が唐招提寺を建てる。	12
	768	・春日大社ができる。	10
平安	794	京都に都(平安京)がおかれる。	19
	796	・東寺ができる。	20
	798	・坂上田村麻呂が清水寺を建てる。(1633年に再建)	23
	894	遣唐使が停止される。	

時代	年	こと が ら	参照ページ
平安	1016	藤原道長が摂政になる。	19
	1052	・平等院ができる。	31
	1053	・定朝が鳳凰堂の阿弥陀如来像をつくる。	31
	1164	・三十三間堂(蓮華王院)ができる。(1266年に再建)	22
	1180	・平重衡が東大寺、興福寺を焼く。	8・11
鎌倉	1192	源頼朝が征夷大将軍となる。	19
	1203	・運慶らが金剛力士立像をつくる。	7
	1333	鎌倉幕府がほろびる。	
室町	1338	足利尊氏が京都の室町に幕府を開く。	
	1339	・足利尊氏が天龍寺を建てる。	30
	1397	・足利義満が金閣を建てる。(1955年に再建)	27
	1450	・細川勝元が龍安寺を建てる。	28
	1467	応仁の乱がおこる。	29
	1489	・足利義満が銀閣を建てる。	25
	1567	・松永久秀が東大寺大仏殿を焼く。	8
	1573	織田信長が室町幕府をほろぼす。	
安土桃山	1582	本能寺の変がおこる。	22
	1590	豊臣秀吉が全国を統一する。	
	1591	・豊臣秀吉が本願寺を建てる。	20
	1600	関ヶ原の戦いがおこる。	
江戸	1603	・徳川家康が二条城を建てる。	21
		徳川家康が江戸に幕府を開く。	
	1639	鎖国が完成する。	
	1709	・東大寺大仏殿が再建される。	8
	1867	二条城で大政奉還が行われる。	21
明治	1868	東京に都が移され、明治の世となる。	
	1895	・平安神宮ができる。	26

京都観光情報早見表

観光エリア	場所	見学所要時間	掲載ページ
京都駅エリア	東寺	40分	20
	西本願寺	30分	20
	東本願寺	40分	20
	二条城	60~90分	21
	三十三間堂	30分	22
	本願寺	30分	22
祇園エリア	清水寺	40分	23
	建仁寺	20分	24
	知恩院	40分	24
	八坂神社	30分	24
東山エリア	銀閣	40分	25
	平安神宮	20分	26
	南禅寺	20分	26
北山エリア	金閣	40分	27
	北野天満宮	30分	28
	龍安寺	40分	28
	仁和寺	40分	29
	大徳寺	60分	29
嵐山エリア	天龍寺	30分	30
	広隆寺	30分	30
伏見宇治エリア	醍醐寺	90分	31
	平等院	60分	31
	伏見稲荷大社	90分	32

タクシー移動時間マップ



体験学習一覧表 いちらん (※番号は1ページ、2ページの地図中の番号と対応しています。) [奈良編]

体験メニュー	内 容	場 所	ホームページ	所在地
にぎり墨 (1時間程度)	墨の歴史や制作過程を学び、にぎり墨を作る。	① 錦光園		奈良市三条町547 0742-22-3319
赤膚焼 (1~2時間)	造形や絵付けを体験する。	② 赤膚焼窯元 大塩昭山		奈良市中町4953 0742-45-0408
		赤膚山元窯 古瀬堯三		奈良市赤膚町 五条山1049 0742-45-4517
鬼瓦 (1時間)	ミニ鬼瓦を作る。	③ 瓦道		奈良市 奈良阪町1144 0742-22-2391
座禅・法話 (1時間30分)	緊張した雰囲気の中で修行体験をする。	④ 三松寺		奈良市七条1-26-10 0742-44-3333
奈良筆 (30分~1時間)	奈良筆作りの最後の工程を体験する。	⑤ 奈良筆田中		奈良市公納堂町6 090-8483-4018
鹿角細工 (30分)	奈良の鹿の角を使って簡単な鹿角細工を体験する。	⑥ 奈良の鹿愛護会		奈良市春日野町160 0742-22-2388
草木染め (2時間)	植物を使い、古代にできるだけ近い手法で染色の体験をする。	⑦ 水谷草木染		明日香村立部448 0744-24-5802

体験学習一覧表 いちらん (※番号は17ページ、18ページの地図中の番号と対応しています。) [京都編]

体験メニュー	内 容	場 所	ホームページ	所在地
友禅染 (30~60分)	ハンカチなどの友禅染を体験する。	⑧ 古代友禅苑		下京区高辻通猪熊 西入ル十文字町668 075-823-0500
清水焼 (40分程度)	素焼きの生地に絵をえがく。	⑨ 丸益西村屋		中京区小川通 御池南入ル 075-211-3273
		⑩ 森陶器館		東山区 清水2丁目254 075-561-3457
		⑪ コトブキ陶春		山科区川田 清水焼団地町10-2 075-581-7195
組み紐 (1時間)	組み紐をあみ、その紐を使ってストラップやキーホルダーを作る。	⑫ 青窯会会館		東山区 泉涌寺東林町20 075-531-5678
		⑬ 安達くみひも館		上京区出水通烏丸 西入中出水町390 075-432-4113



友 禅 染



清 水 焼

体験学習一覧表 （※番号は17ページ、18ページの地図中の番号と対応しています。） [京都編]

体験メニュー	内 容	場 所	ホームページ	所在地
ざ ぜん 座禅・法話 (1時間)	静けさの中で緊張感を味わい、精神修養する。	14 けん じん じ 寺		東山区大和六路通 四条下ル小松町 075-561-6363
		15 こう 雲 寺		左京区 南禅寺北ノ坊町59 075-751-7949
にし じん おり 西 陣 織 (約40分)	手織体験では、織幅約20cm長さ30cmのテーブルセンターを織る。	16 にしじんおりかいかん 西陣織会館		上京区 (西堀川)通元誓願寺 上ル) 竪門前町414 075-451-9231
きょう せん す 京 扇 子 (1時間30分)	扇子の絵付け体験をする。	17 きょう せん どう 堂		下京区東洞院通 正面上ル筒金町46 075-371-4151
		18 まい せん どう 堂		東山区祇園町 南側579 075-532-2050
		19 きょうせんす 京扇子とく		下京区富小路通松原 下ル本上神明町446 075-351-7489



西 陣 織



念 珠

体験学習一覧表 （※番号は17ページ、18ページの地図中の番号と対応しています。） [京都編]

体験メニュー	内 容	場 所	ホームページ	所在地
古典芸能 (要相談)	20 ががく きょうげん まいこ ぶよう 雅楽、狂言、舞妓の舞踊 などを鑑賞する。	20 弥栄会館内 ギオンコーナー		東山区祇園町 南側570-2 075-561-1119
	21 わそつ 和装着付、茶道、日本舞踊 を体験したり、日本舞踊 の鑑賞をしたりする。	21 きょうと 京都文化企画室		左京区 浄土寺小山町1-10 075-761-8554
きょう が し 京 菓 子 (25~90分)	ハッ橋作りを体験する。	22 いづつ やつ はしほん ぼ 井筒ハッ橋本舗 (京極一番街店)		中京区寺町四条上ル 東大文字町310 075-255-2121
		23 やつ はしあん ハッ橋庵と ししゅうやかた		右京区 西京極西衣手町36 075-313-2151
ねん じゆ 念 珠 (1時間)	玉を使い、腕輪念珠や天然石ブレスレットを作る。	24 いま いはんねんじゆてん 今井半念珠店		東山区大黒町通 正面南入(大仏耳塚) 075-561-0307
		25 かおり みやこ 香 の 都		下京区堀川通六条 下ル元日町2-1 5F 075-352-3799
きょう しつ ぼう 京 七 宝 (70分)	素地に釉薬を塗り、キーホルダーやアクセサリーを作る。	26 アミタ本店 (京副ハンドイクラフトセンター)		左京区 聖護院円頓美町17 075-761-0142
		27 かとれあ工房		上京区寺之内通千本 東入新猪熊町392-1 075-451-6669 090-6326-5855

フリースペース



41



42

フリースペース



令和7年度版 修学旅行のしおり

編集 「修学旅行のしおり」編集委員会
三河教育研究会

刊行 公益財団法人愛知教育文化振興会
〒444-0868 岡崎市明大寺町字馬場東170番地1
電話 (0564) 51-4819

印刷 株式会社 岡田印刷

(表紙の絵 豊橋市立吉田方中学校 川西由里子 先生)

※無断で複写・複製することを禁じます。

※外部ホームページリンク先は、予告なく変更・削除されることもあります。